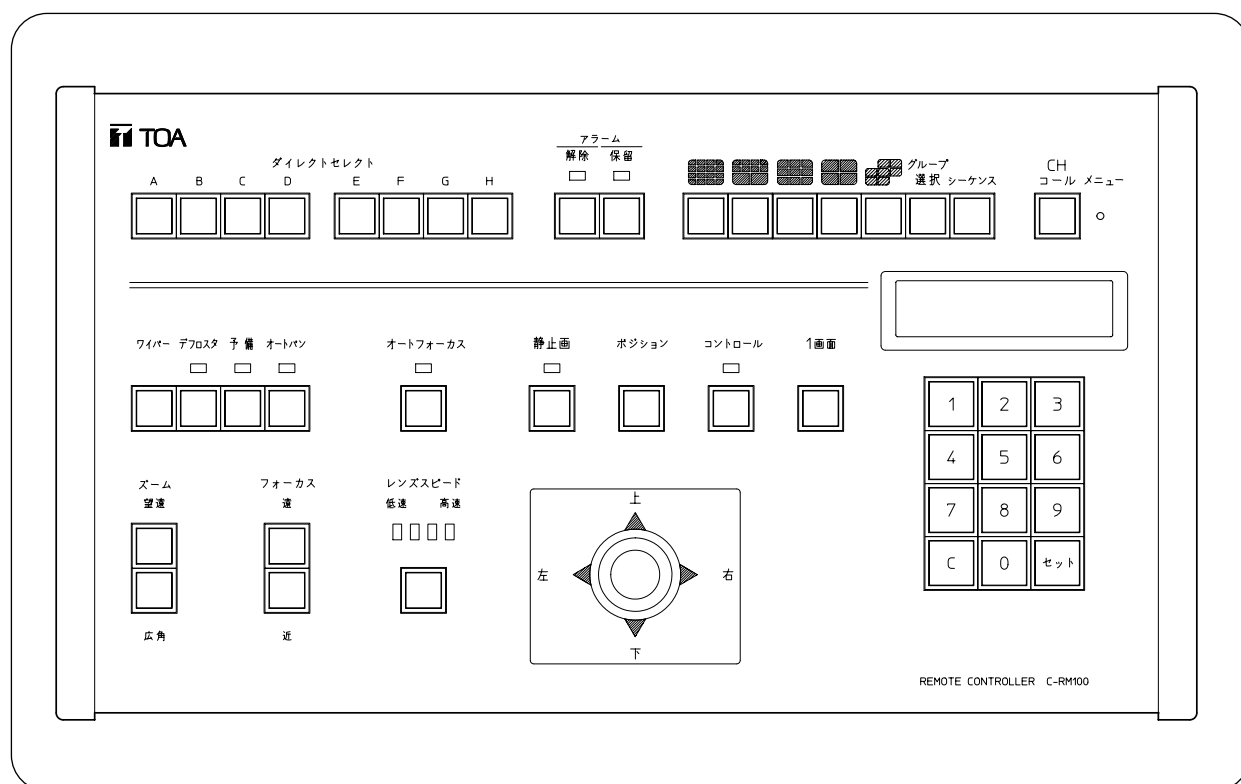


専用リモートコントローラ

C-RM100



このたびは、TOA 専用リモートコントローラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

安全上のご注意	3
概 要	5
機能の説明	5
各部の名称とはたらき	
操作面	6
接続面	9
操作のしかた	
コントロールLED点灯中に操作できるキーについて	10
CHコールキー	10
静止画キー	11
コントロールキー	11
ダイレクトセレクトキー	12
16分割画面キー	12
10分割画面キー	12
9分割画面キー	13
4分割画面キー	13
4分割画面シーケンスキー	14
1画面キー	14
シーケンスキー	14
短縮番号再生の操作	15
アラーム解除キー、保留キーの操作	15
設定のしかた	16
動作モードの設定	16
スイッチャの設定	17
RS-232Cの設定	17
ブザーの設定	17
初期画面の設定	18
チャンネル指定	19
アラーム受信の設定	20
アラーム信号の設定	20
アラーム時間の設定	20
アラーム機能の設定	21
アラーム保留の設定	21
ダイレクトセレクトの設定	22
タンシュク番号の設定	23
設定作業の終了	23
接続のしかた	
C-SC100 との接続（リモコン専用端子の接続）	24
C-AL80 との接続	25
スイッチャの接続	26
画像伝送装置（コーデック）との接続1	27
画像伝送装置（コーデック）との接続2	29
アフターサービスについて	30
仕 様	31

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を強制する記号
 注 意	 分解禁止  禁 止  接触禁止	 電源プラグ を抜け



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁 止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき (芯線の露出、断線など)
- 音が出ないとき
- 画面が映らないとき



注 意

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

使用するとき

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグや制御線にはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

使用するとき

上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

定期的に内部の掃除を

内部の掃除については、販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



注意

電源プラグやコンセント部の掃除を

電源プラグを差し込んでいるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



注意

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

概 要

本機は、リモコン専用端子をもっている監視カメラシステムの各機器（1局コントローラ C-SC100 やスイッチャ C-MS160D/S、C-MS90D/S）を一括（C-SC100 は8台まで接続可）して制御するための遠隔操作機です。

機能の説明

● 画面選択機能

マルチスイッチャに接続されているカメラの映像を1画面表示の他、4分割、シーケンス4分割、9分割、10分割、16分割での画面表示、シーケンス1画面表示の中から選ぶことができます。

● マニュアル操作機能

C-SC100 に接続しているコンビネーションカメラや旋回台の ZOOM、FOCUS、PAN、TILT を制御できます。

● ポジション再生機能

C-SC100 に接続しているコンビネーションカメラの向きを制御して、その方向の映像をモニタに表示させることができます。

● ダイレクトセレクト機能

設定により A～H の各キーに、カメラ番号やカメラ番号+ポジション番号を登録することができます。

A～H のキーを押すとモニタに1画面表示させ、さらにポジション番号が設定されている場合は、設定されている方向の映像を表示できます。

● 短縮番号再生機能

設定により 1～520 までの番号に、カメラ番号やカメラ番号+ポジション番号を登録できます。

テンキーにより登録された番号を入力し、セットキーを押すことで、その番号に登録されているカメラ番号の映像を1画面表示させ、さらにポジション番号が設定されている場合は、設定されている方向の映像を表示できます。

● アラーム機能

本機が接続されている監視カメラシステムに入力されたアラーム信号に合わせて、表示画面を制御します。

アラーム入力があったとき、アラーム入力のあったカメラの映像を優先して表示します。

また、アラームによるチャンネルの切り換えを一時的にストップさせることができるアラーム保留機能もっています。アラーム保留機能により、アラーム保留中に選択している表示画面から、アラーム入力による強制的な画面の切り換えを保留します。

● ISDN 機能

画像伝送装置（コーデック）と本機を組み合わせる使用することにより、電話回線を使用して遠隔地から監視カメラシステムをリモート制御することができます。

※ 本書は、リモートコントローラ C-RM100（本機）と1局システムコントローラ C-SC100 および、マルチスイッチャ C-MS160D/S、C-MS90D/S を接続したシステムで記述しています。

※ C-SC100 : 別売の1局システムコントローラの品番です。

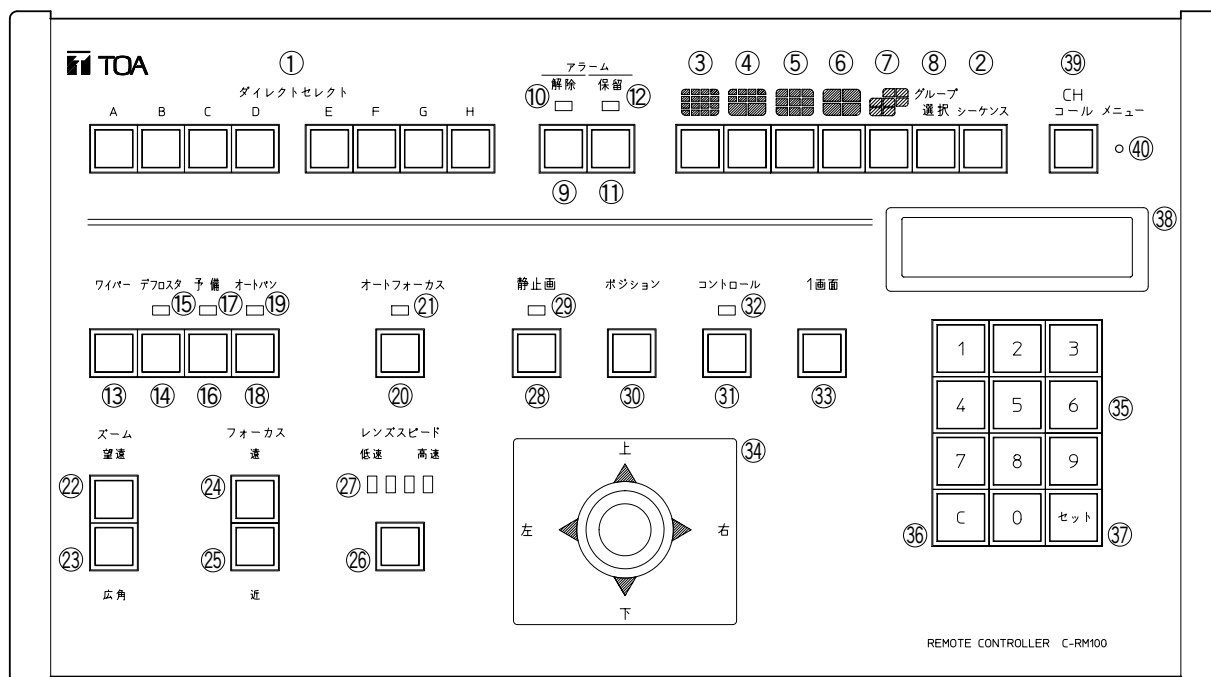
※ C-MS160D/S、C-MS90D/S : 別売のスイッチャの品番です。

※ カメラ番号 : スwitchャに接続されているカメラ入力端子の番号を表示します。

※ ポジション番号 : C-SC100 に接続しているコンビネーションカメラの向きを1～64の番号に登録しておくことができます。01番（画面表示 P-01）がホームポジションです。

各部の名称とはたらき

[操作面]



キーによっては、システム構成上機能しないものがあります。該当するキーには、右記の注記を付記しています。

(注1) 本機と1局コントローラのシステムでは、機能しません。

(注2) 本機とスイッチャのシステムでは、機能しません。

(注3) コントローラにリレーボックスが接続されているときに機能します。

① ダイレクトセレクトキー

登録されているカメラ番号の映像を1画面表示します。さらにポジション番号が登録されている場合、カメラを登録されている方向に向けます。

設定によりA～Hの各キーにカメラ番号、または、カメラ番号+ポジション番号を登録します。

LCDに、右のような表示をします。(2秒間)

(P. 12)

A ダイレクトセレクト

② シーケンスキー (注1)

接続されているすべてのカメラの映像を一定の時間で切り換えながら1画面で表示します。(切換時間はスイッチャで設定します。)

(P. 14)

シーケンス

③ 16分割画面キー (注1)

カメラの映像をモニタに16分割画面で表示させます。

(P. 12)

16分割画面

④ 10分割画面キー (注1)

モニタに10分割画面で表示させます。

10分割画面で表示させているとき、さらにこのキーを押すと、グループ1が表示中ならグループ2を、グループ2が表示中ならグループ1を表示します。

(P. 12)

10分割画面

⑤ 9分割画面キー (注1)

モニタに9分割画面で表示させます。

9分割画面で表示させているとき、さらにこのキーを押すと、グループ1が表示中ならグループ2を、グループ2が表示中ならグループ1を表示します。

(P. 13)

9分割画面

⑥ 4分割画面キー (注1)

モニタに4分割画面で表示させます。

4分割画面で表示させているとき、さらにこのキーを押すと、グループ1が表示中ならグループ2を、グループ2が表示中ならグループ3を、グループ3が表示中ならグループ4を表示して、グループ4が表示中ならグループ1を表示します。

(P. 13)

4分割画面

⑦ 4分割画面シーケンスキー (注1)

スイッチャに、接続されているすべてのカメラの映像を4分割画面で表示し、一定の時間でグループ1～4を順に切り換えて、モニタに表示させるキーです。

(P. 14)

4分割画面シーケンス

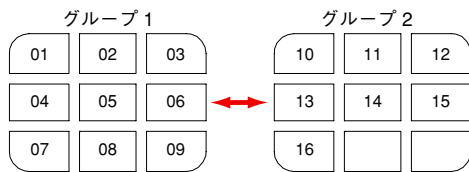
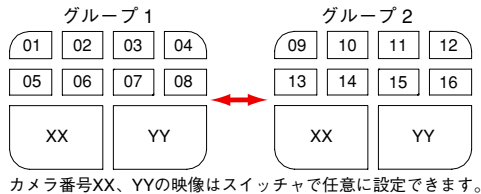
⑧ グループキー (注1)

モニタに映像を10分割画面表示、9分割画面表示、4分割画面表示で表示させているとき、このキーを押すと表示中のグループが切り換わります。

グループ

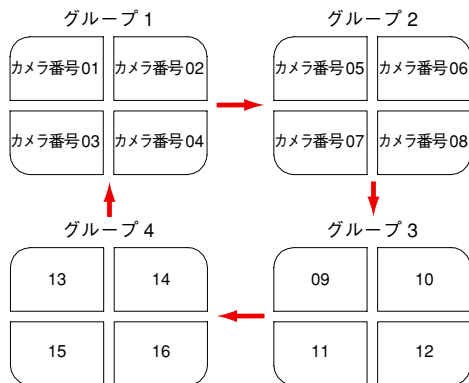
●10分割画面または9分割画面を表示中

グループ1→グループ2→グループ1→グループ2の順に、切り換えて表示します。



●4分割画面を表示中

グループ1→グループ2→グループ3→グループ4→グループ1の順に、切り換えて表示します。



⑨ アラーム解除キー

システムのアラーム状態を解除するキーです。

(P. 15)

アラームリセット

⑩ アラーム起動LED

アラーム起動を表示するLEDです。アラーム起動中は点滅しています。

⑪ アラーム保留キー

アラーム起動の入力を保留するキーです。

(P. 15)

アラームホリユ

⑫ アラーム保留LED

アラーム保留状態を知らせるLEDです。アラーム保留中は点滅しています。

⑬ ワイパーキー (注2) (注3)

C-SC100に接続されているリレーボックスのワイパー端子をリモート操作するキーです。コントロールLEDが点灯中にだけ有効です。

ワイパー

⑭ デフロスタキー (注2) (注3)

C-SC100に接続されているリレーボックスのデフロスタ端子をリモート操作するキーです。コントロールLEDが点灯中にだけ有効です。

デフロスター

⑮ デフロスタLED

C-SC100に接続されているリレーボックスのデフロスタの状態を表示します。デフロスタが動作中のときは点灯します。動作していないときは消灯しています。

⑯ 予備接点キー (注2) (注3)

C-SC100に接続されているリレーボックスの予備接点をメーク、ブレイクさせるキーです。コントロールLEDが点灯中にだけ有効です。

ヨビ SW

⑰ 予備LED

C-SC100に接続されているリレーボックスの予備接点の状態を表示します。予備接点がメークしているときはLEDが点灯しています。ブレイクのときは消灯しています。

⑱ オートパンキー (注2) (注3)

C-SC100に接続されている旋回台やコンビネーションカメラのオートパン機能をON、OFFするキーです。コントロールLEDが点灯中にだけ有効です。

オートパン

⑲ オートパンLED

旋回台のオートパン機能の状態を表示します。旋回台がオートパン中は点灯しています。オートパン停止中は消灯しています。

⑳ オートフォーカスキー (注2)

C-SC100に接続されているコンビネーションカメラのオートフォーカス機能を動作させるキーです。コントロールLEDが点灯中にだけ有効です。

オートフォーカス

㉑ オートフォーカスLED

コンビネーションカメラのオートフォーカス機能が動作中に点灯します。

㉒ ズーム望遠キー (注2)

C-SC100に接続されているコンビネーションカメラのズームレンズを「望遠」側に調節するキーです。コントロールLEDが点灯中にだけ有効です。

マニュアル

②③ ズーム広角キー (注2)

C-SC100に接続されているコンビネーションカメラのズームレンズを「広角」側に調整するキーです。コントロールLEDが点灯中だけ有効です。

マニュアル

②④ フォーカス遠キー (注2)

C-SC100に接続されてい旋回台やコンビネーションカメラのレンズのフォーカスを「遠側」に調節するキーです。コントロールLEDが点灯中だけ有効です。

マニュアル

②⑤ フォーカス近キー (注2)

C-SC100に接続されているコンビネーションカメラのレンズのフォーカスを「近側」に調節するキーです。コントロールLEDが点灯中だけ有効です。

マニュアル

②⑥ レンズスピードキー (注2)

ズームキー、フォーカスキーを押したときのレンズの動作速度を調節するキーです。電源投入時は中速です。その後、このキーを押すごとに高速 → 微速 → 低速 → 中速と切り換ります。

LCDには、表示しません。

②⑦ レンズスピードLED

ズームキー、フォーカスキーを押したときのレンズの動作速度を表示するLEDです。4つのLEDでスピードを表示します。微速で1つ、低速2つ、中速3つ、高速で4つ点灯します。

②⑧ 静止画キー (注1)

映像を静止画像にするためのキーです。シーケンス表示中は、静止画像にできません。

テンキーを押して、カメラ番号を入力後に静止画キーを押すとそのカメラ番号の映像が静止画像になります。

1画面表示のときは、静止画キーを押すだけで静止画像になります。

多分割画面表示の状態で、複数のカメラの映像を静止画像にできます。ただし、下記のカメラ番号の映像は、同時には静止画像にできません。(P. 11)

●4分割画面表示の場合

- ・ 01、05、09、13の映像
- ・ 02、06、10、14の映像
- ・ 03、07、11、15の映像
- ・ 04、08、12、16の映像

●9分割画面表示の場合

- ・ 01、10の映像
- ・ 02、11の映像
- ・ 03、12の映像
- ・ 04、13の映像
- ・ 05、14の映像
- ・ 06、15の映像
- ・ 07、16の映像

●10分割画面表示の場合

- ・ 01、09の映像
- ・ 02、10の映像
- ・ 03、11の映像
- ・ 04、12の映像
- ・ 05、13の映像
- ・ 06、14の映像
- ・ 07、15の映像
- ・ 08、16の映像

●16分割画面表示の場合

すべてのカメラ番号の映像を静止画像にすることができます。

11 フリーズ

②⑨ フリーズLED

表示画面の中に静止画像があるとき点滅します。

③⑩ ポジションキー (注2)

C-SC100に接続されているコンビネーションカメラを設定された方向に向けるキーです。

コントロールLEDが点灯中にだけ有効です。

テンキーによる、ポジション番号の指定なしに、このキーを押したときはポジション1番（ホームポジション）に登録されている方向にカメラを向けます。

5 ポジション

③⑪ コントロールキー

多分割画面表示をさせた画面で、手動でコントロールするカメラを指定するキーです。

ただし1画面表示、シーケンス表示させているときは、動作しません。また、テンキーによるチャンネル番号の指定無しにこのキーを押しても動作しません。

(P. 11)

3 コントロール

③⑫ コントロールLED

手動で制御可能な画面表示のとき点灯します。

点灯したときは、上・下・左・右、ズーム、フォーカスなどが手動で制御できます。(P. 14)

③⑬ 1画面キー

1画面表示させるカメラ番号を選ぶキーです。テンキーによるカメラ番号の入力無しにこのキーを押しても動作しません。

(P. 14)

2 チャンネル

③⑭ ジョイスティック (注2)

システムに接続されている旋回台つきカメラの向きを上・下・左・右に制御します。

コントロールLEDが点灯中だけ有効です。

マニュアル

③⑮ テンキー

設定時には、カメラ番号やポジション番号を入力します。また、モニタに1画面表示させたり、静止画にしたい映像のカメラ番号を選ぶときに使用します。

64

③⑥ クリアキー

テンキー入力間違いを訂正します。また、アラーム中にブザーを鳴らしている場合、このキーを押すとアラームのブザーが停止します。

クリア

③⑦ セットキー

設定時には、テンキーとともにカメラ番号やポジション番号の登録に使用します。
登録した番号をテンキーで入力した後にこのキーを押して、カメラ番号+ポジションの映像を1画面で表示させることができます。(短縮番号再生)
1～520までの番号に、カメラ番号+ポジション番号を登録できます。

111 セット

③⑧ LCD

内部設定用メニュー、テンキーの入力状態などの情報を文字で表示します。

③⑨ CH コールキー (注1)

押すとカメラ番号を一定の時間、表示します。
表示がないときや、カメラの名称を表示中にカメラ番号を知りたいとき便利です。

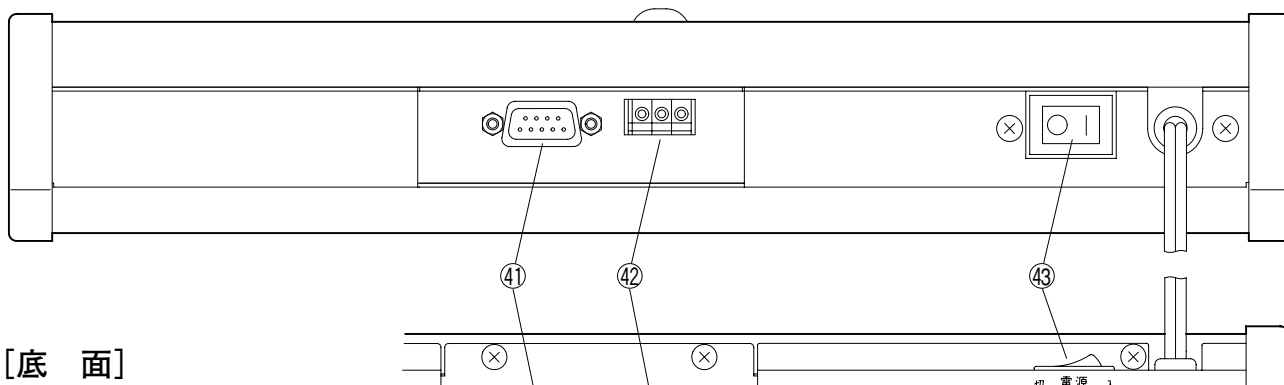
(P. 10)

チャンネルコール

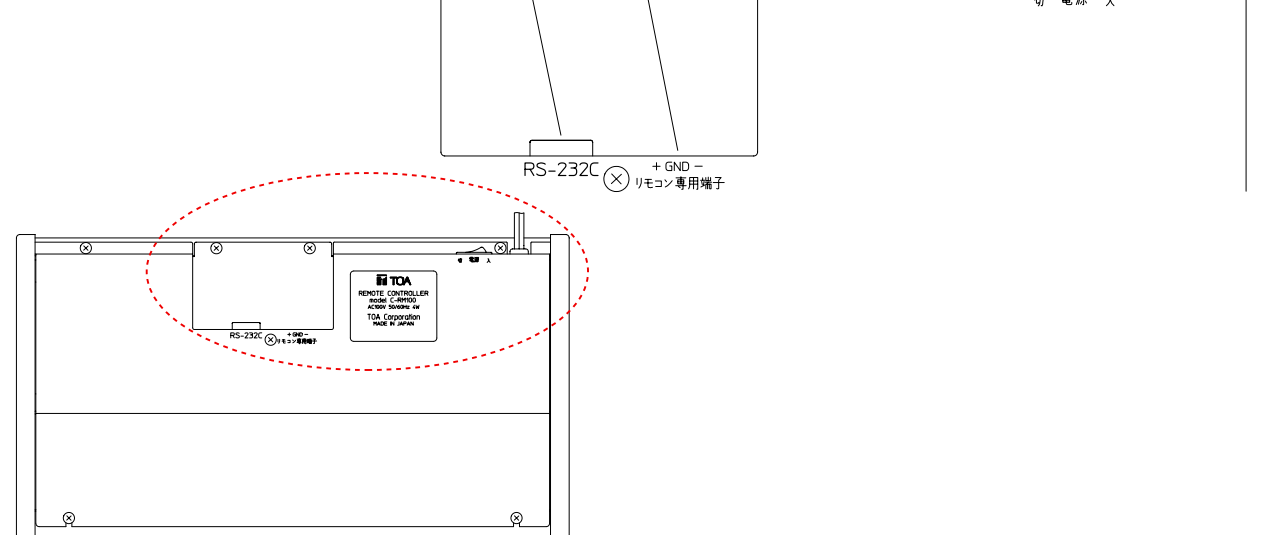
④⑩ メニュー起動スイッチ

設定時に本機のメニューを立ち上げるスイッチです。
先の細いものでかるく押します。
設定終了後は、必ず押してください。(表示が消えます。)

[接続面]



[底 面]



④① RS232C 端子

外部のシステムとのインターフェース、アラーム情報の入力などに使用するためのシリアルI/Oです。

④② リモコン専用端子

各機器とのネットワークを実現するためのシリアルI/Oです。

④③ 電源スイッチ

「入」にすると ②⑦ レンズスピードLED が点灯します。

操作のしかた

■ コントロールLED点灯中に操作できるキーについて

操作中にコントロールLEDが点灯しているときは、下記のキーが操作できる状態です。詳しくは「各部の名称とはたらき」をお読みください。これらのキーを押したとき、システムの中に機能がない場合は、モニター画面に「ムコウ」を表示します。)

屋外制御用の各キー : ワイパー
デフロスタ
予備
オートパン

ズームキー : 望遠・広角（押しながら調節します。）

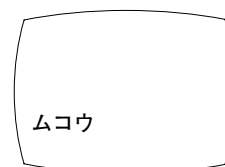
フォーカスキー : 遠・近（押しながら調節します。）

オートフォーカスキー : 押すと自動的にフォーカス調節ができます。

レンズスピードキー : 低速 ← → 高速（押すごとに切り換えます。）

ジョイスティック : 上・下・左・右（カメラを動かせたい方向に倒します。）

ポジションキー : テンキーを押して、ポジション番号を選んでから押すと、C-SC100で設定した方向にカメラが向きます。

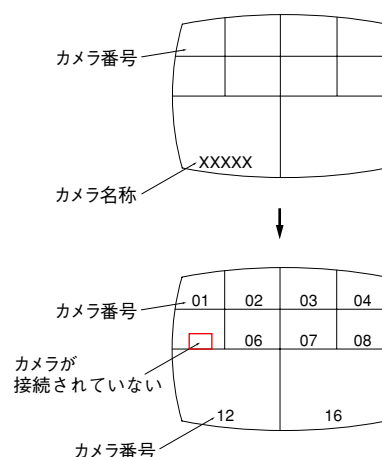
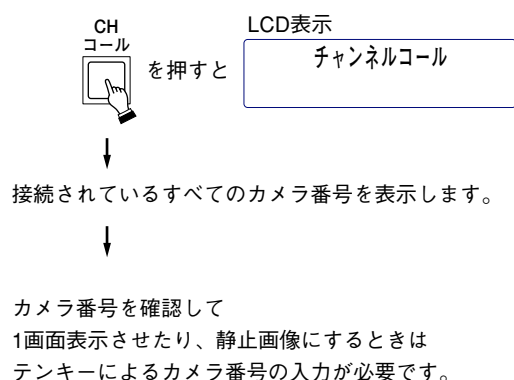


メ モ モニタに表示するカメラポジションの名称はコントローラで、カメラの名称はスイッチャでそれぞれ設定します。また、表示するか、しないかもコントローラとスイッチャでそれぞれ設定します。

■ CH コールキー

モニタに表示がないときや、カメラの名称を表示中にカメラ番号を知りたいとき、押すとカメラ番号を一定の時間、表示します。

例：10分割画面を表示中



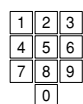
■ 静止画キー

テンキーを押して、カメラ番号を入力後に押すとその映像が静止画像で表示されます。静止画像を表示中は、画面に「F」または「静止」の文字を表示します。

例：10分割画面を表示中

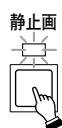


同じようにXXのカメラ番号が「2」の場合



同じように
テンキー入力→静止画キーを押して
次々に映像を静止させることができます。

すべての静止画像を解除するとき

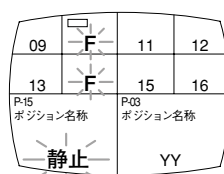
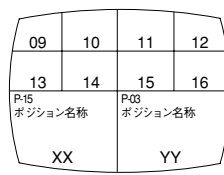
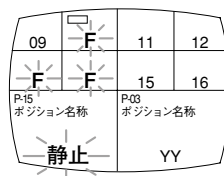
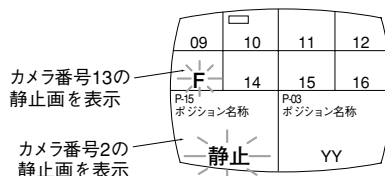
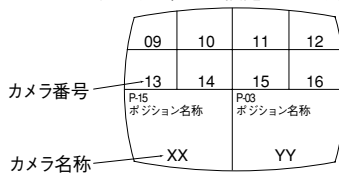


を押すとすべての静止画像が
解除できます。

例：カメラ番号13の静止画像を解除するとき



※XXとYYのカメラ番号は、
スイッチャーで任意に設定できます。



LCD表示

1 3

1 3 フリーズ

2

2 フリーズ

2

LCD表示

1 3 フリーズ

■ コントロールキー

多分割画面表示をさせたとき、手動で制御するカメラを選ぶキーです。

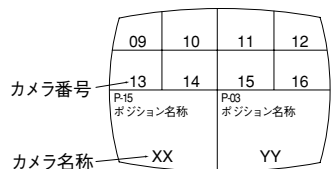
例：10分割画面を表示中



コントロール



コントロールLEDが点灯して
ジョイスティックなどを操作できます。



LCD表示

1 3

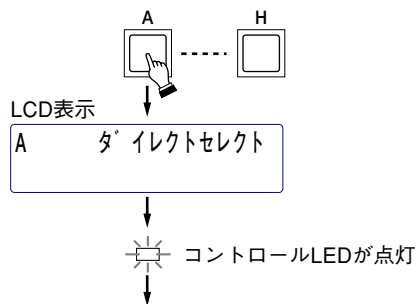
1 3 コントロール

1 3

メ モ シーケンス表示中のときは動作しません。

■ ダイレクトセレクトキー

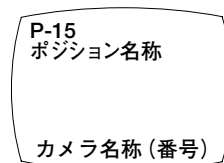
A～Hのキーを押すと、各キーに設定されたカメラ番号+ポジション番号の映像をモニタに表示します。



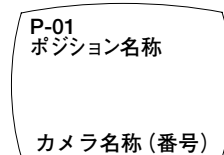
01 A(～H)キーに設定したカメラ番号を表示

その他のキーを押すことで、押したキーの動作に換わります。

Aキーに設定したカメラ番号の映像を表示します。



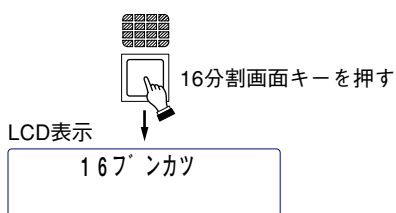
C-SC100で設定した時間を過ぎるとホームポジションの映像を表示します。



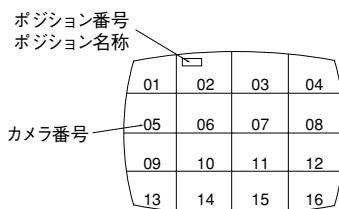
メ モ ポジションはC-SC100で設定されています。ホームポジションは、01番(P-01)で、通常モニタに表示させる映像(カメラの向き)が設定されています。

■ 16分割画面キー

接続されているすべてのカメラの映像をモニタに表示します。

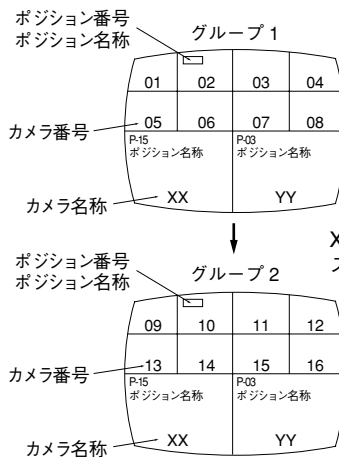
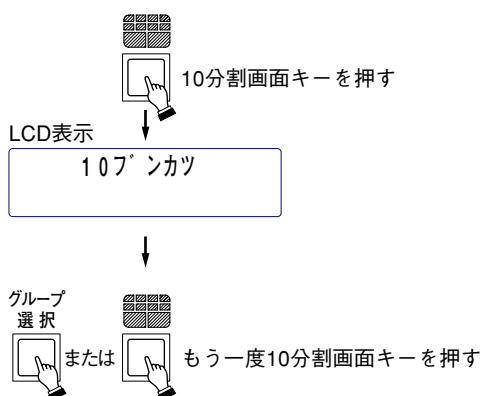


接続しているすべてのカメラの映像を表示します。



■ 10分割画面キー

このキーか、またはグループキーを押すたびに、グループ1とグループ2の10分割画面を交互に表示します。



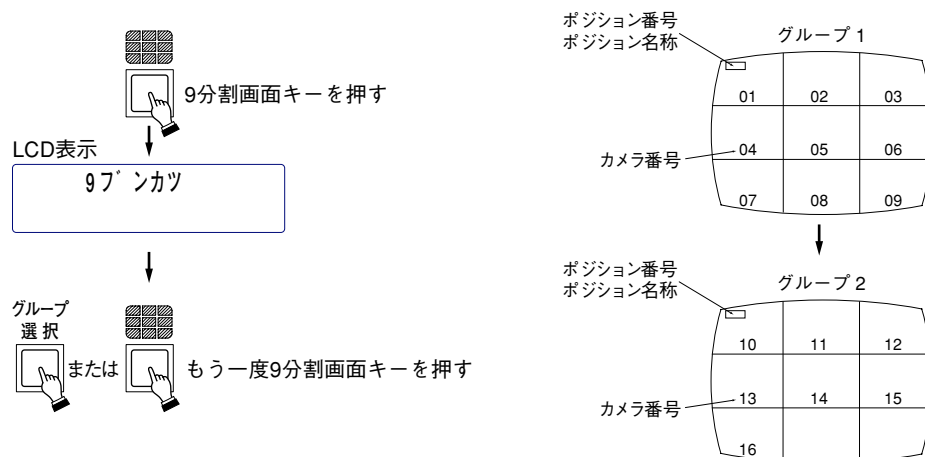
XXとYYの画面に表示する映像は、スイッチャで設定します。

メ モ グループ1とグループ2の画面で同じ表示位置にある映像は、同時には静止画像にできません。
例：01と09の映像、03と11の映像などです。

■ 9分割画面キー

このキーか、またはグループキーを押すたびに、グループ1とグループ2の9分割画面を交互に表示します。

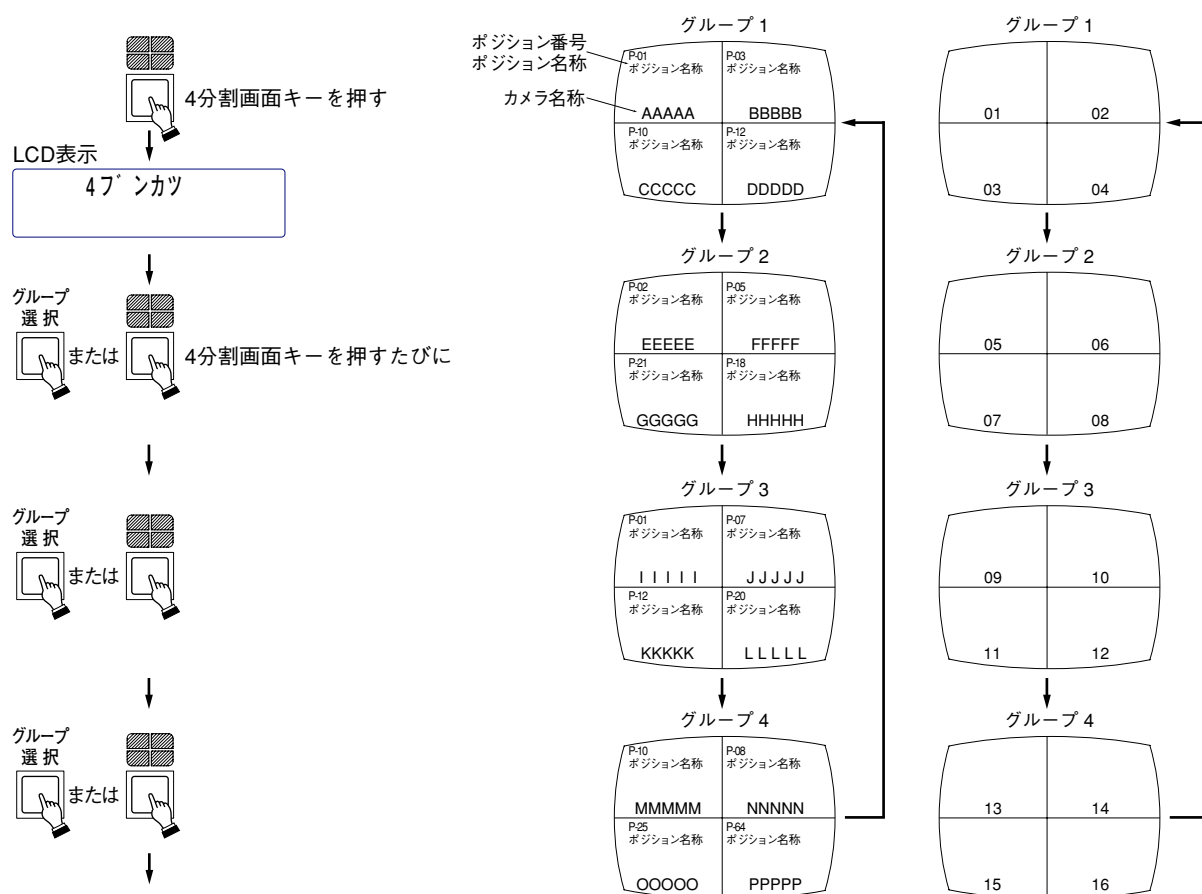
- メ モ グループ1とグループ2の画面で同じ表示位置にある映像は、同時には静止画像にできません。
例：01と10の映像、03と12の映像などです。



■ 4分割画面キー

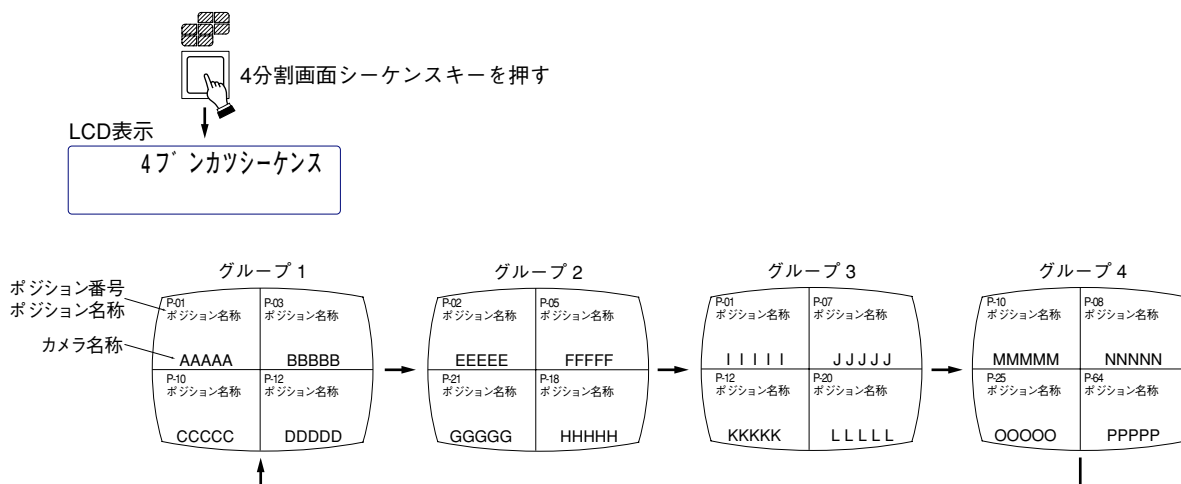
このキーか、またはグループキーを押すたびに、グループ1～グループ4の4分割画面を順に表示します。

- メ モ グループ1～グループ4の画面で同じ表示位置にある映像は、同時には静止画像にできません。
例：01と05、09、13の映像や02と06、10、14の映像などです。



■ 4 分割画面シーケンスキー

グループ1～4の4分割画面をグループ1→グループ2→グループ3→グループ4→グループ1の順に自動的にくりかえしながら表示します。



■ 1 画面キー

1画面表示させたい映像のカメラ番号を、テンキーを押して入力した後にこのキーを押します。

例：10分割画面を表示中

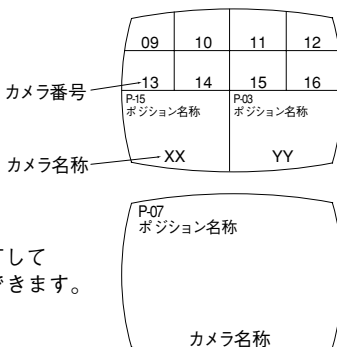
1	2	3
4	5	6
7	8	9
	0	

1 3

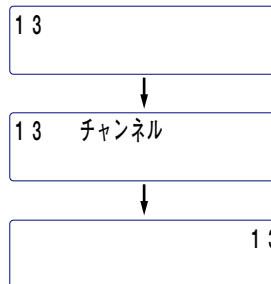
を押した後



を押すと



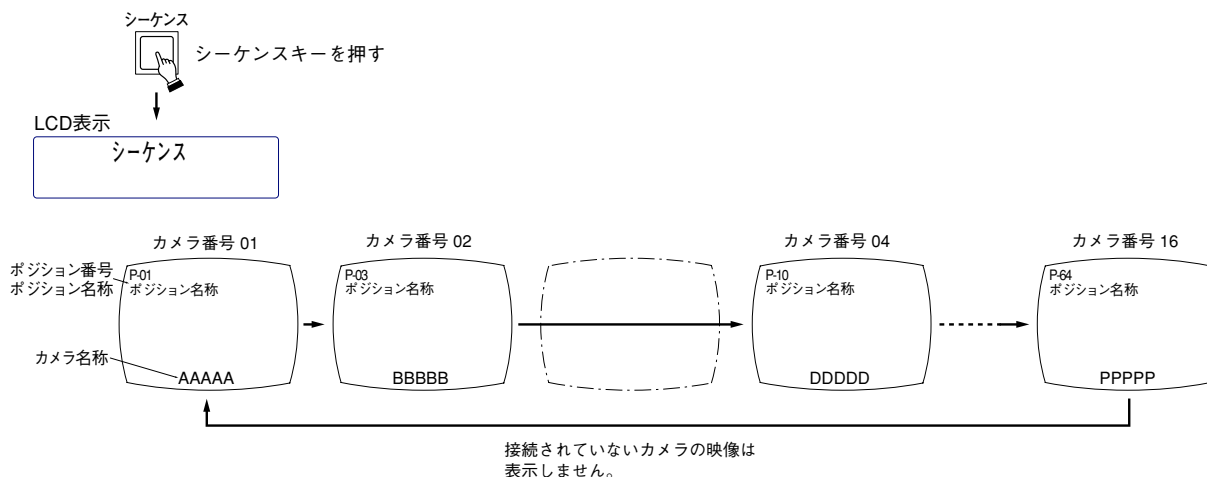
LCD表示



コントロールLED点灯が点灯して
ジョイスティックなどを操作できます。

■ シーケンスキー

スイッチャに接続されているカメラの映像を一定間隔（時間はスイッチャで設定）で切り換えながら1画面表示させます。接続されていない端子（カメラ番号）の映像は表示しません。

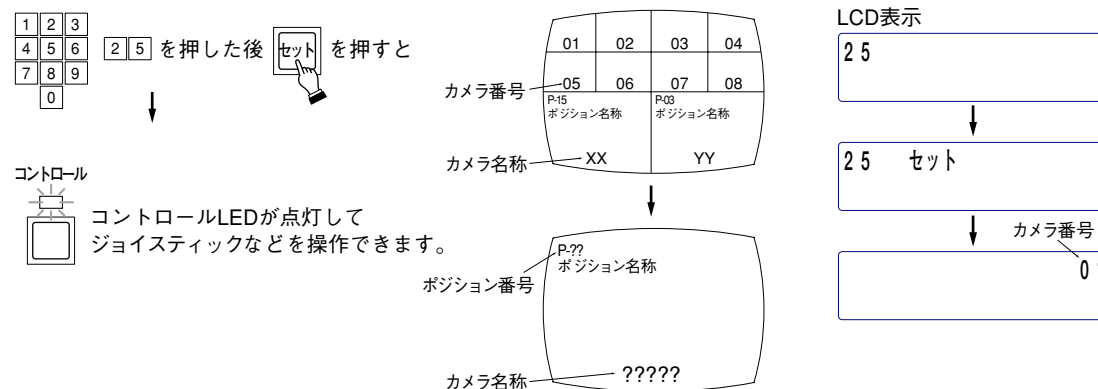


■ 短縮番号再生の操作

テンキーを押して、番号を入力後に「セット」キーを押すと、その番号に設定されたカメラの映像を1画面表示させることができます。

短縮番号の設定は、P. 23「タンシュク番号の設定」をお読みください。

例：10分割画面を表示中

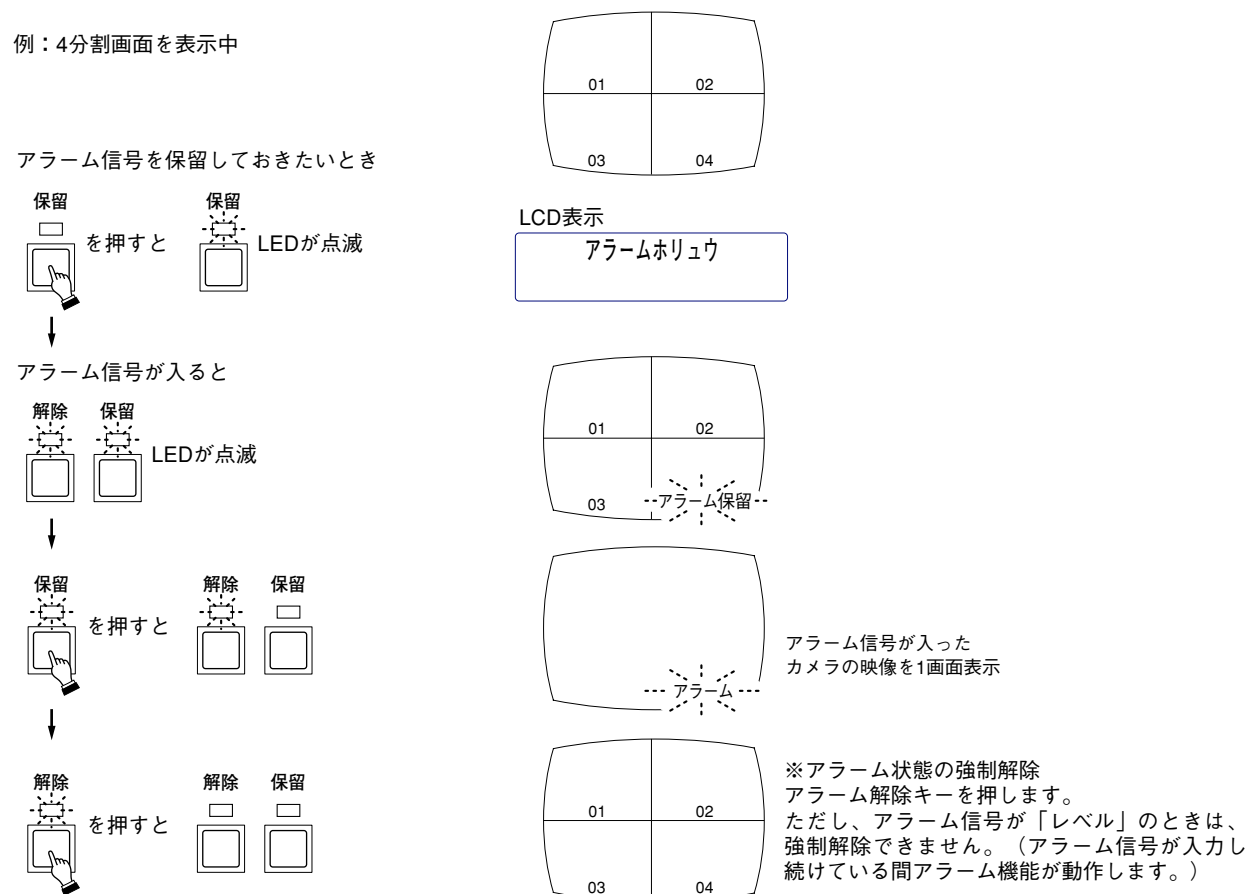


■ アラーム解除キー、保留キーの操作

アラーム保留の設定で、「1. フロント」に設定されているときの操作です。「2. ジョウジ」に設定されていると動作しません。（参照 P. 21）

通常、アラーム保留キーを押さないで使用中は、アラーム信号が入力すると同時にモニタに1画面表示で、アラーム信号が入ったカメラの映像を表示します。

例：4分割画面を表示中



設定のしかた

LCDの表示と、セットキー、クリアキー、テンキー、ジョイスティックを操作して設定項目の内容を選びながら設定作業をします。

メニュー起動スイッチを先の細いもので押す（ON）と、LCD表示に「ドウサモード」と表示し設定作業ができる状態になります。設定時には、どの部分でメニュー起動スイッチを押して（OFF）も通常の表示状態にもどります。



トウサモード

セットキー：設定内容を選択します。

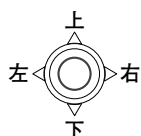


「1」の下にカーソルが現れて、点滅します。
動作モードの設定状態になります

トウサモード

1. マスター

ジョイスティック：上・下に動かして → 設定「項目」を選びます。
左・右に動かして → 設定「内容」を選びます。



左・右に動かすと

トウサモード

2. スレーブ

トウサモード

3. ISDN

1. マスター → 2. スレーブ → 3. ISDN の順に変わります。

上記の状態でセットキーを押すと
次の設定項目に変わります。

スイッチャ

クリアキー：直前の作業を取り消します。

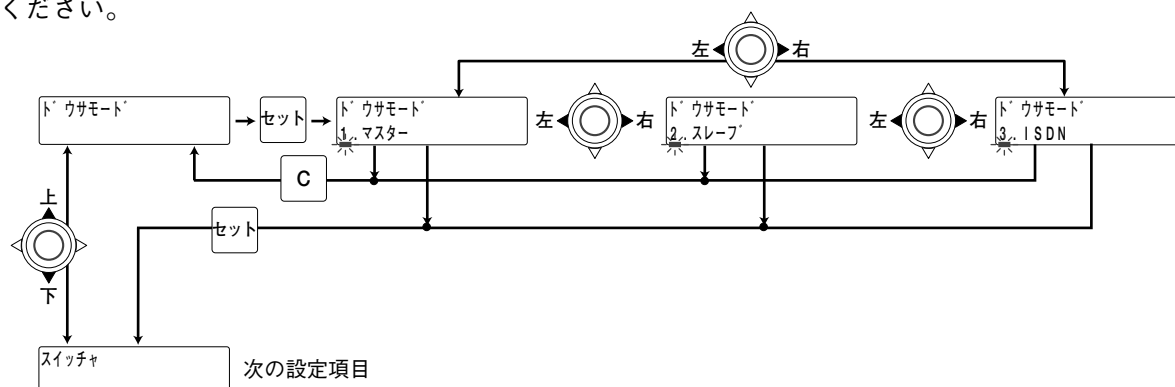


テンキー：カメラ番号やポジション番号を入力します。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
C	0	セット

動作モードの設定

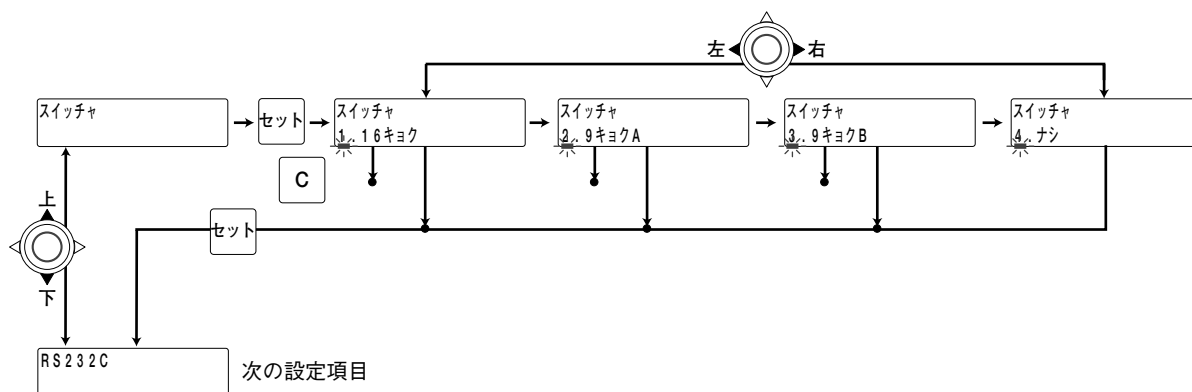
- 工場出荷時：1. マスター（1. マスター、2. スレーブ、3. ISDN）
- リモコンが1台しかない場合は必ずマスターに設定してください。
リモコンが2台の場合は、必ず片側を1. マスターに、もう片側を2. スレーブに設定してください。
- 画像伝送装置（コーデック）に接続し、電話回線を使用してリモート制御するときは、必ず3. ISDNに設定してください。



■ スイッチャの設定

リモコン専用線で接続されているスイッチャの種類を設定します。

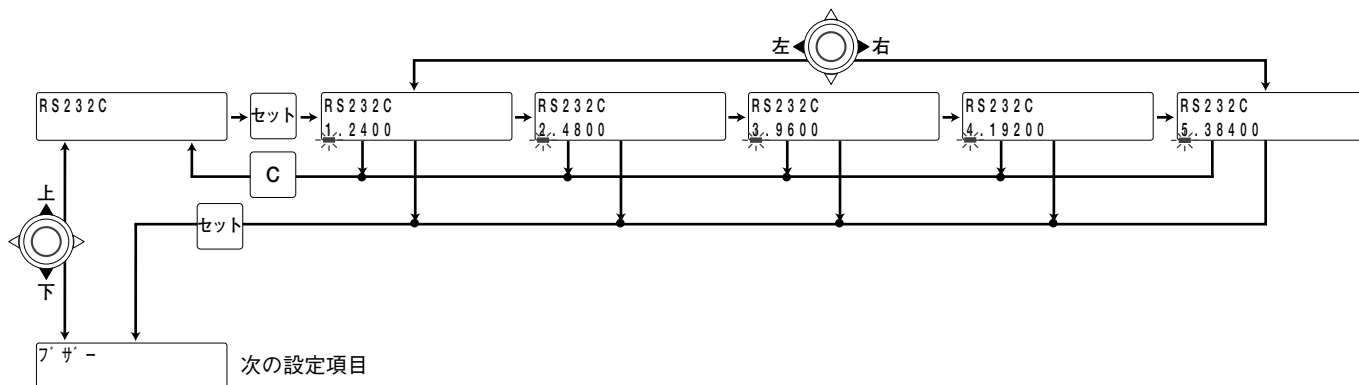
- 工場出荷時：1. 16キョク（1. 16キョク、2. 9キョクA、3. 9キョクB、4. ナシ）
- スイッチャ C-MS160D/S が接続されている場合は、「1. 16キョク」に設定します。
- スイッチャ C-MS90D/S が接続されている場合で、スイッチャの「4 プンカツジノカメラ9」設定が「オフ」のときは「2. 9キョクA」に、「オン」のときは「3. 9キョクB」に設定します。
- スイッチャが接続されていない場合は、「4. ナシ」に設定します。



■ RS-232C の設定

画像伝送装置と接続して使用する場合は、転送レートを合わせます。使用しない場合は、ジョイスティックを下側に倒して次の設定をしてください。

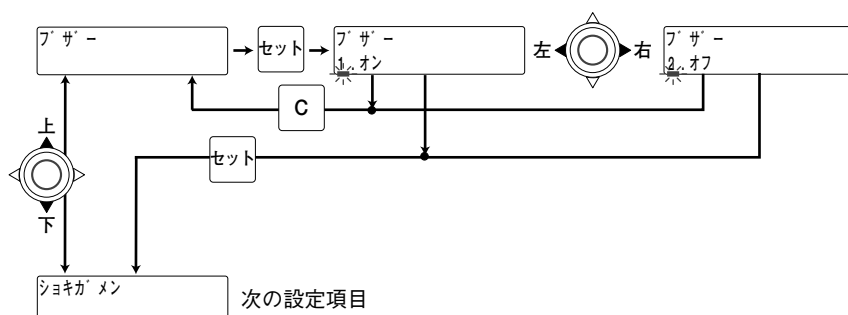
- 工場出荷時：3. 9600（1. 2400、2. 4800、3. 9600、4. 19200、5. 38400）



■ ブザーの設定

アラーム入力時やまちがった操作をしたときにブザーを鳴らす「オン」か、鳴らさない「オフ」かを設定します。

- 工場出荷時：1. オン（1. オン、2. オフ）

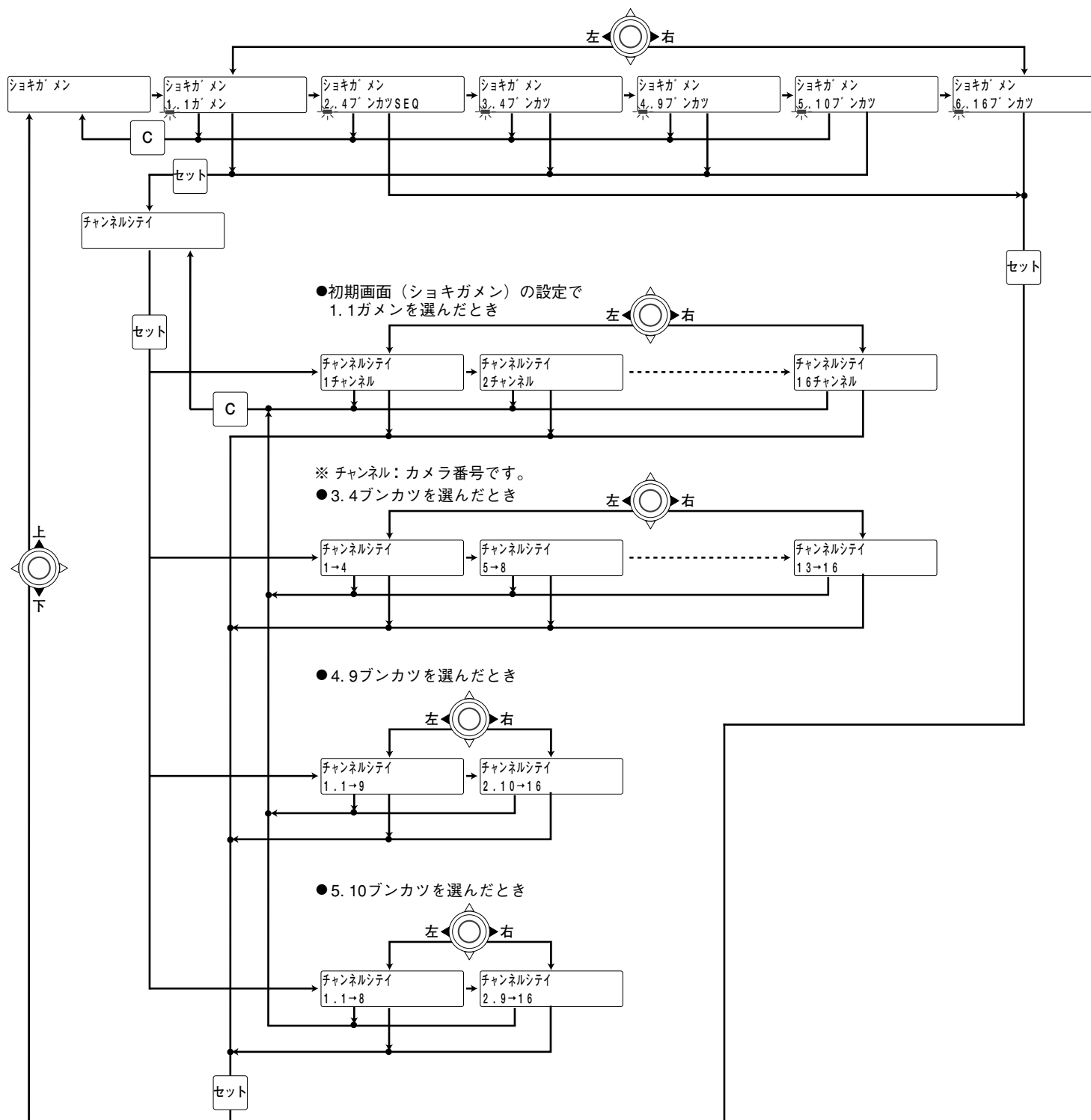


■ 初期画面の設定

初期画面の設定は、動作モードの設定で「1. マスター」に設定したときにだけできます。電源投入直後、モニタに表示させる画面を設定します。

● 工場出荷時：2. 4ブンカツSEQ

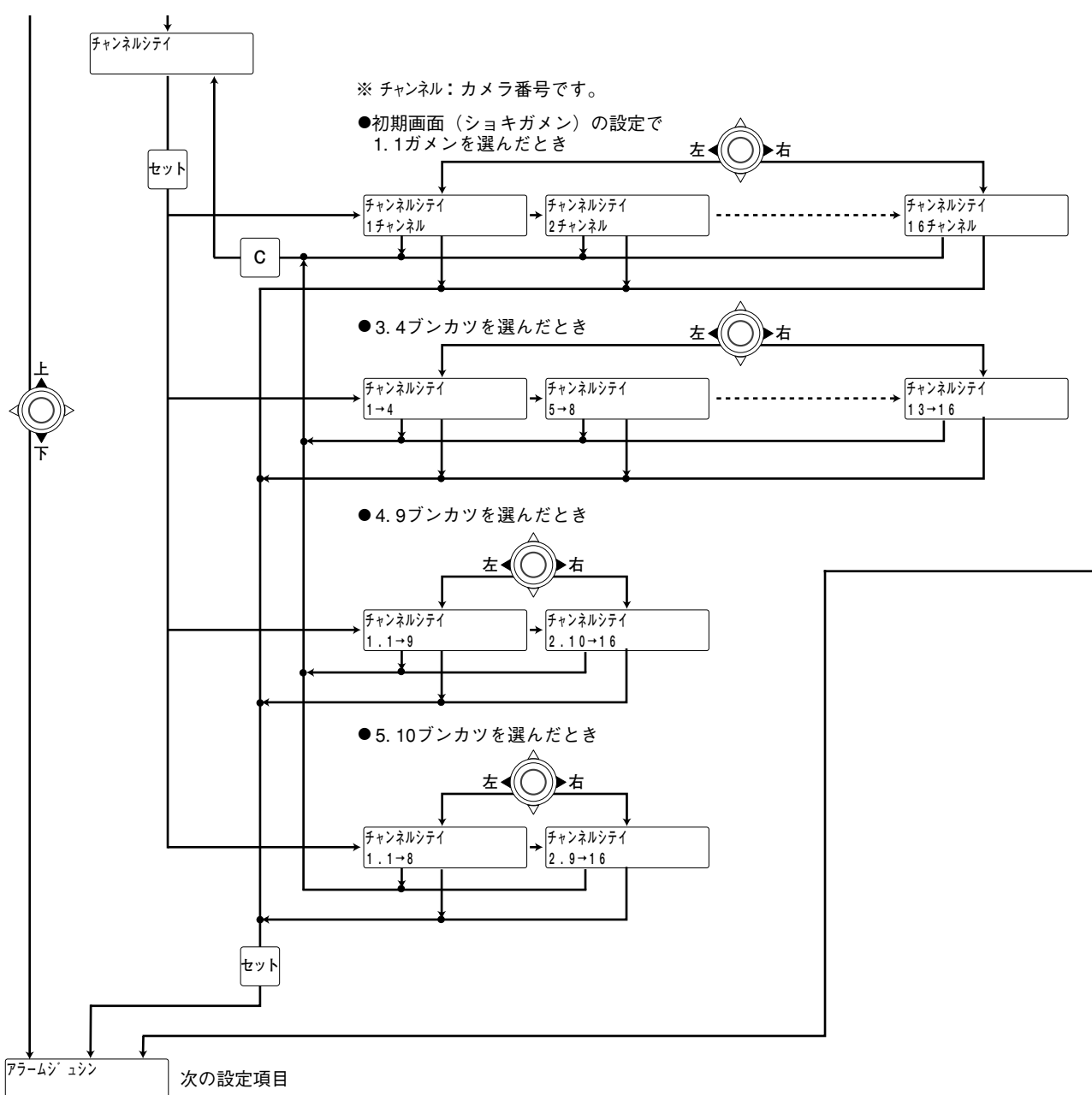
1. 1ガメン : 1画面表示
2. 4ブンカツSEQ : シーケンス4分割画面表示
3. 4ブンカツ : 4分割画面表示
4. 9ブンカツ : 9分割画面表示
5. 10ブンカツ : 10分割画面表示
6. 16ブンカツ : 16分割画面表示



■ チャンネル指定

電源投入時、最初に表示するカメラ番号を選びます。初期画面の設定で、1 ガメン、4 ブンカツ、9 ブンカツ、10 ブンカツのいずれかを選んだ場合だけに設定します。

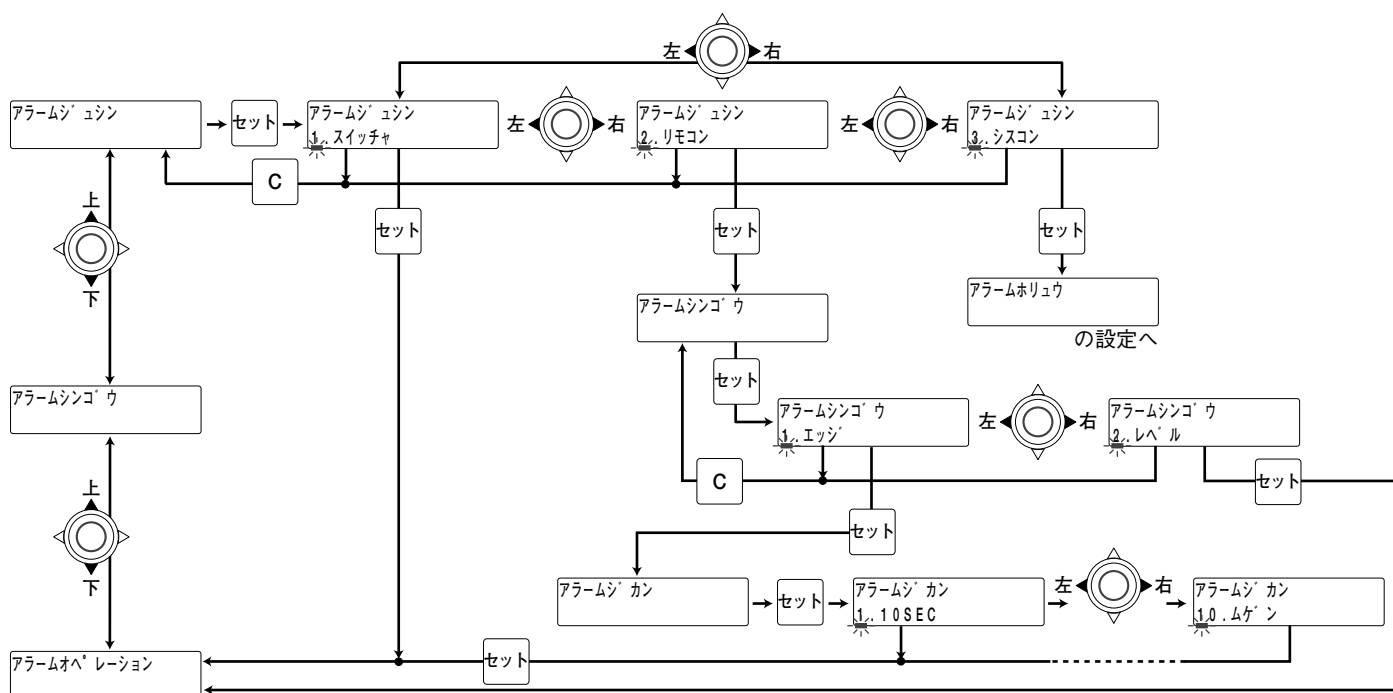
- 1 ガメンのとき (1 番～16 番)
工場出荷時：1 番
- 4 ブンカツのとき (1 → 4、5 → 8、9 → 12、13 → 16)
工場出荷時：1 → 4
- 9 ブンカツのとき (1 → 9、10 → 16)
工場出荷時：1 → 9
- 10 ブンカツのとき (1 → 8、9 → 16)
工場出荷時：1 → 8



■ アラーム受信の設定

アラーム受信の設定は、動作モードの設定で「1. マスター」に設定したときにだけできます。この設定は、アラーム信号の入力をシステムのどの機器が受けるかを設定します。

- 工場出荷時：1. スイッチャ（1. スイッチャ、2. リモコン、3. シスコン）
- 本機と C-SC100 のシステムで、C-SC100 にアラーム信号が入力される場合は、「シスコン」に設定してください。
- 本機と C-SC100、スイッチャが存在するシステムで、C-SC100 とスイッチャにアラーム信号が入力される場合は、「スイッチャ」に設定してください。
- 本機にアラーム信号が入力される場合は、「リモコン」に設定してください。
本機にアラーム入力ユニット C-AL80 を接続して、アラーム信号を入力させる場合、C-AL80 の各接点番号は、本機に記憶されている短縮番号に対応します。



■ アラーム信号の設定

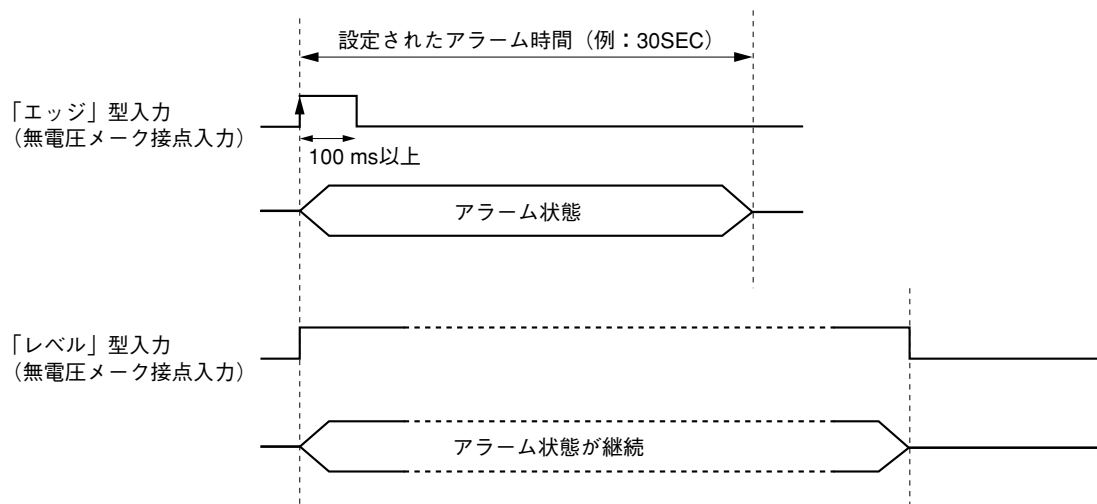
アラーム信号の設定は、動作モードの設定で「1. マスター」に設定したときまた、アラーム受信の設定を「2. リモコン」に設定したときにだけできます。

- 工場出荷時：1. エッジ（1. エッジ、2. レベル）
- 「1. エッジ」に設定すると、アラーム時間の設定で設定された時間が経過したとき、またアラーム解除入力が入ったときにアラーム動作が終了します。
- 「2. レベル」に設定すると、RS-232C 端子にアラーム終了データを受信したときだけアラーム動作が終了します。

■ アラーム時間の設定

アラーム信号の設定で、「1. エッジ」に設定したときだけ設定します。

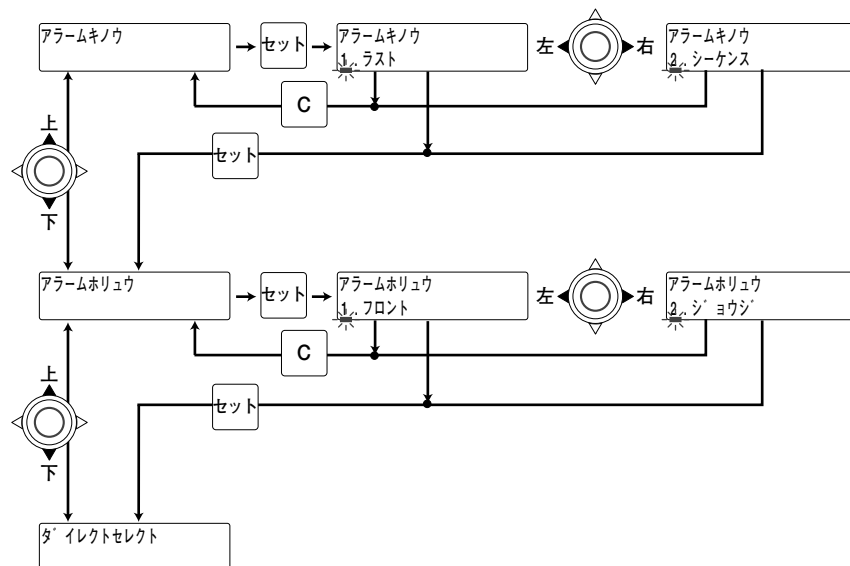
- 工場出荷時：20SEC（10SEC、15SEC、20SEC、30SEC、1MIN、2MIN、3MIN、4MIN、5MIN、ムゲン）
- アラーム入力後、設定された時間が過ぎるとアラーム動作を解除します。または、アラーム解除キー入力か RS232C からのアラーム解除入力でアラーム動作を解除します。
- 「ムゲン」に設定したときは、アラーム解除キー入力か RS232C からのアラーム解除入力でアラーム動作を解除します。



■ アラーム機能の設定

アラーム信号入力時に、モニタに表示させる画面表示方法を設定します。

- 工場出荷時：2. シーケンス（1. ラスト、2. シーケンス）
- 「1. ラスト」に設定すると、最後にアラーム信号が入力したカメラ番号の映像に切り換えて、モニタに1画面表示します。
- 「2. シーケンスモード」に設定すると、アラーム信号が入力中のカメラ番号の映像をシーケンス動作（アラーム信号の入力順に切り換えながら）でモニタに1画面表示します。



■ アラーム保留の設定

監視カメラシステムのアラーム信号入力を常時、保留状態にするための設定です。

- 工場出荷時：1. フロント（1. フロント、2. ジョウジ）
- アラーム信号が入力したときに、画面を切り換える動作をさせたくないときは「2. ジョウジ」に設定します。

■ ダイレクトセレクトの設定

ダイレクトセレクトキー（A～H）を押すだけで、モニタに表示するカメラの映像（カメラ番号とポジション番号）を設定します。カメラ番号、またはカメラ番号+ポジション番号を8とおりまで設定できます。

カメラ番号：01～16までのカメラ番号から、16とおりの番号を登録できます。

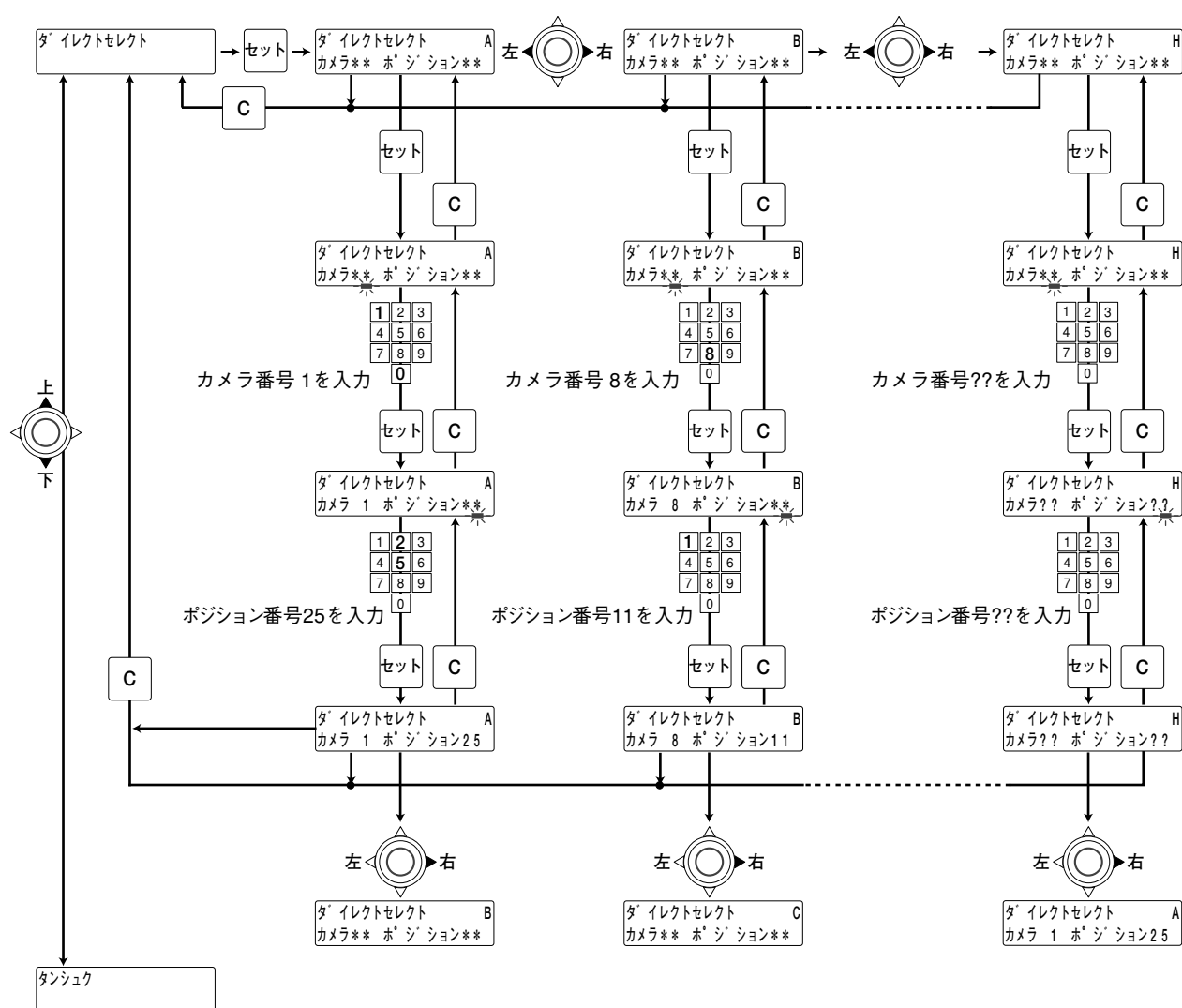
C-SC100 で設定するカメラ番号とスイッチャの入力端子の番号を合わせて接続してください。

ポジション番号：C-SC100 で設定されたポジション番号のなかから選びます。

01～64まで設定できます。（C-SC100に接続された8台のカメラだけです。）

メモ

- カメラ番号+ポジション番号の設定ができるのは、8台（C-SC100に接続されたカメラ）のカメラだけです。
- カメラ番号およびポジション番号の設定については、C-SC100の取扱説明書をお読みください。



■ タンシュク番号の設定

テンキー入力（短縮番号）後にセットキーを押すことにより、登録したカメラ番号、または、カメラ番号＋ポジション番号の映像をモニタに表示させることができます。「ダイレクトセレクト」と同じ機能を 520 とおり設定できます。

短縮番号： 1～520 まで設定できます。

カメラ番号： 01～16 までのカメラ番号から、16 とおりの番号を登録できます。

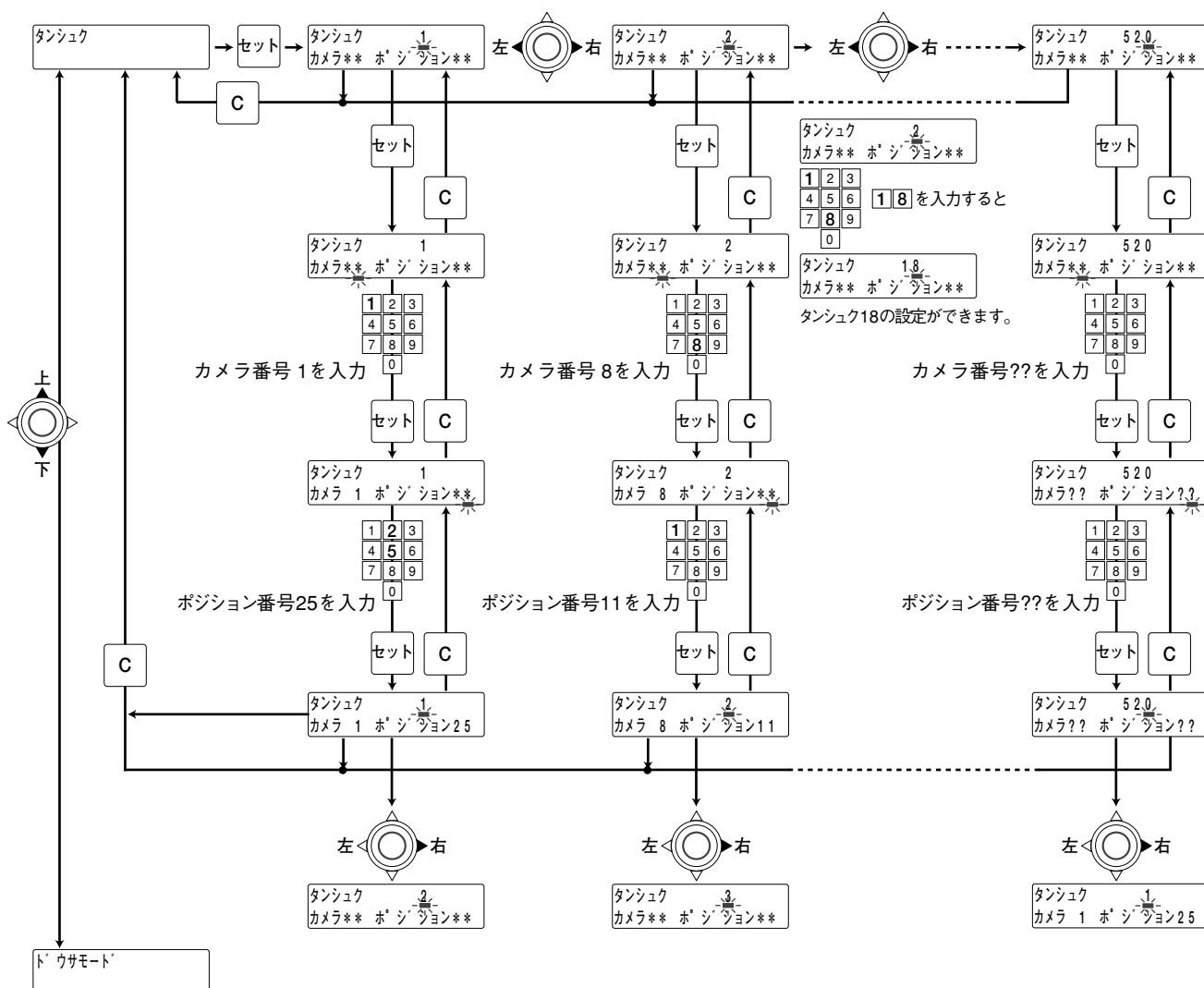
C-SC100 で設定するカメラ番号とスイッチャの入力端子の番号を合わせて接続してください。

ポジション番号： C-SC100 で設定されたポジション番号のなかから選びます。

01～64 まで設定できます。（C-SC100 に接続された 8 台のカメラだけです。）

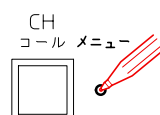
メモ

- カメラ番号＋ポジション番号の設定ができるのは、8 台（C-SC100 に接続されたカメラ）のカメラだけです。
- カメラ番号およびポジション番号の設定については、C-SC100 の取扱説明書をお読みください。



■ 設定作業の終了

すべての設定作業が終われば、「メニュー」キーを押します。LCD の表示が消えます。



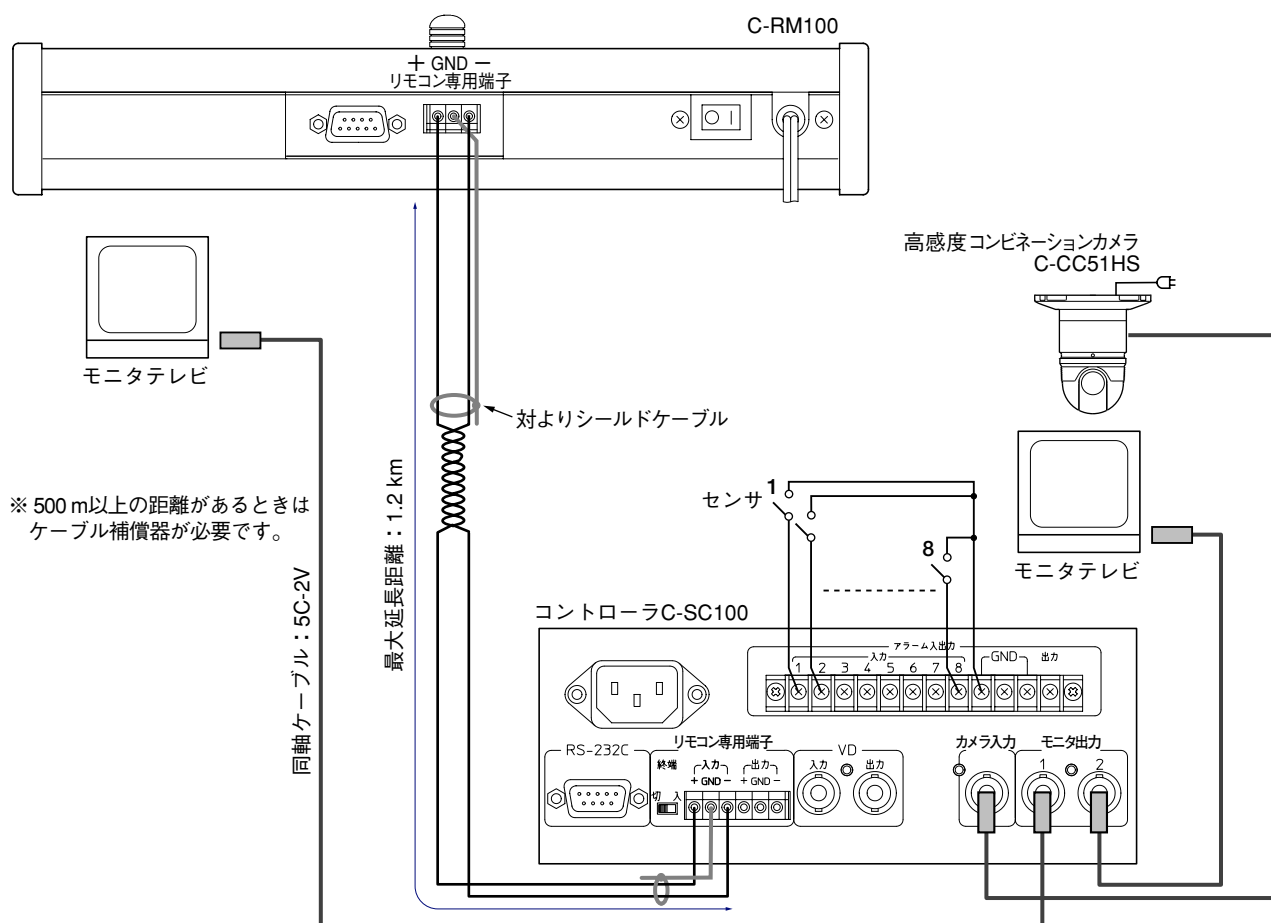
先の細いもので押す

接続のしかた

ご注意 リモコン専用端子間の接続は、ノイズ対策のためにも対よりシールドケーブル(制御用)のシールド線を、必ず双方で「GND」端子に接続してください。

■ C-SC100 との接続 (リモコン専用端子の接続)

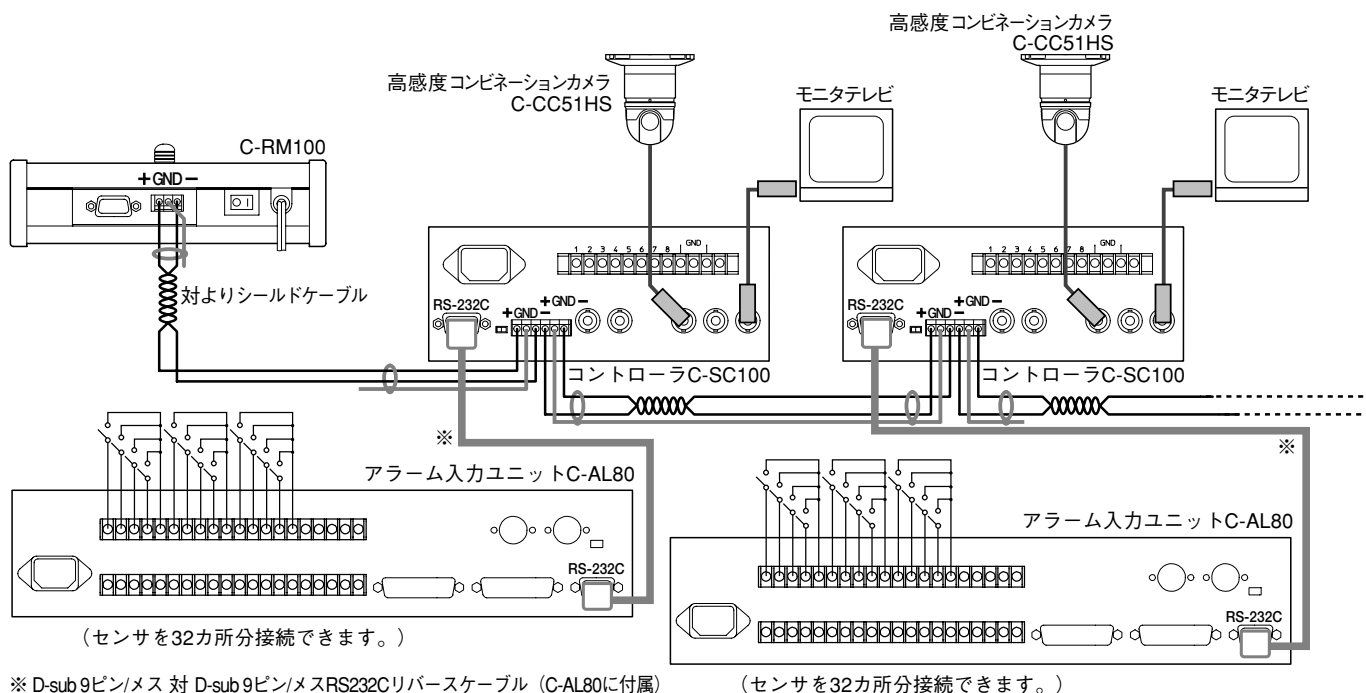
本機のリモコン専用端子+とC-SC100のリモコン専用端子+を、またリモコン専用端子-どうしを接続します。制御用のケーブルは、CPEV-S (対よりシールド線) で $\phi 0.65$ mm以上の太さのケーブルを推奨します。下図のように本機とC-SC100が1対1のシステムの場合は、ケーブルの最大延長距離が1.2 kmです。



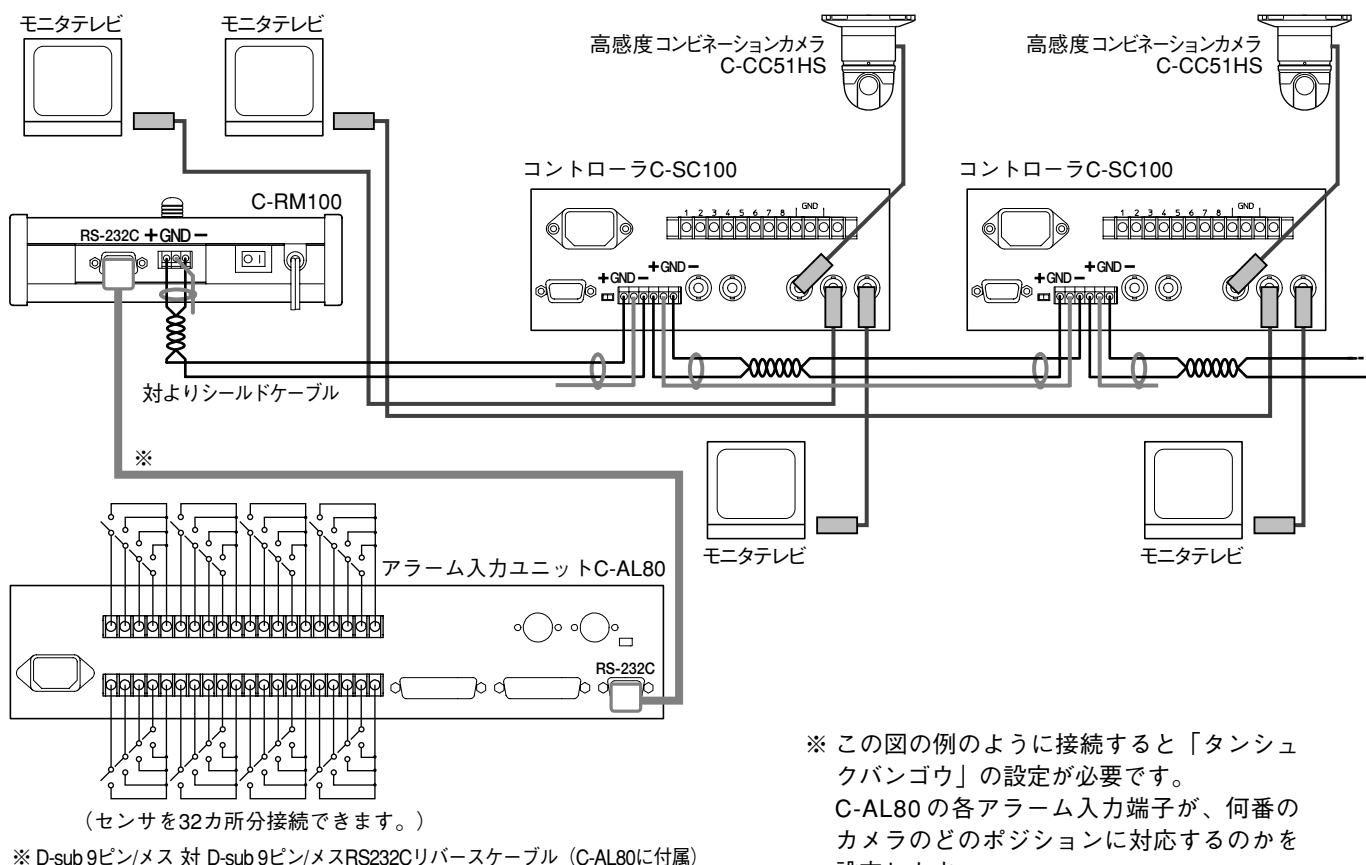
メモ 本機は、最大8台のC-SC100をリモート制御することができます。また、1つのシステム中に2台まで、本機を接続できます。この接続のしかたは1局コントローラC-SC100に付属している取扱説明書をご覧ください。

■ C-AL80 との接続

- コントローラ C-SC100 では、最大 64 のポジション（カメラの向き）を設定することができ、8 つのアラーム入力端子をもっています。アラーム入力ユニット C-AL80 を接続して、センサの接続数を増やしアラーム入力によって、ポジションごとにカメラの映像をモニタに表示させることができます。

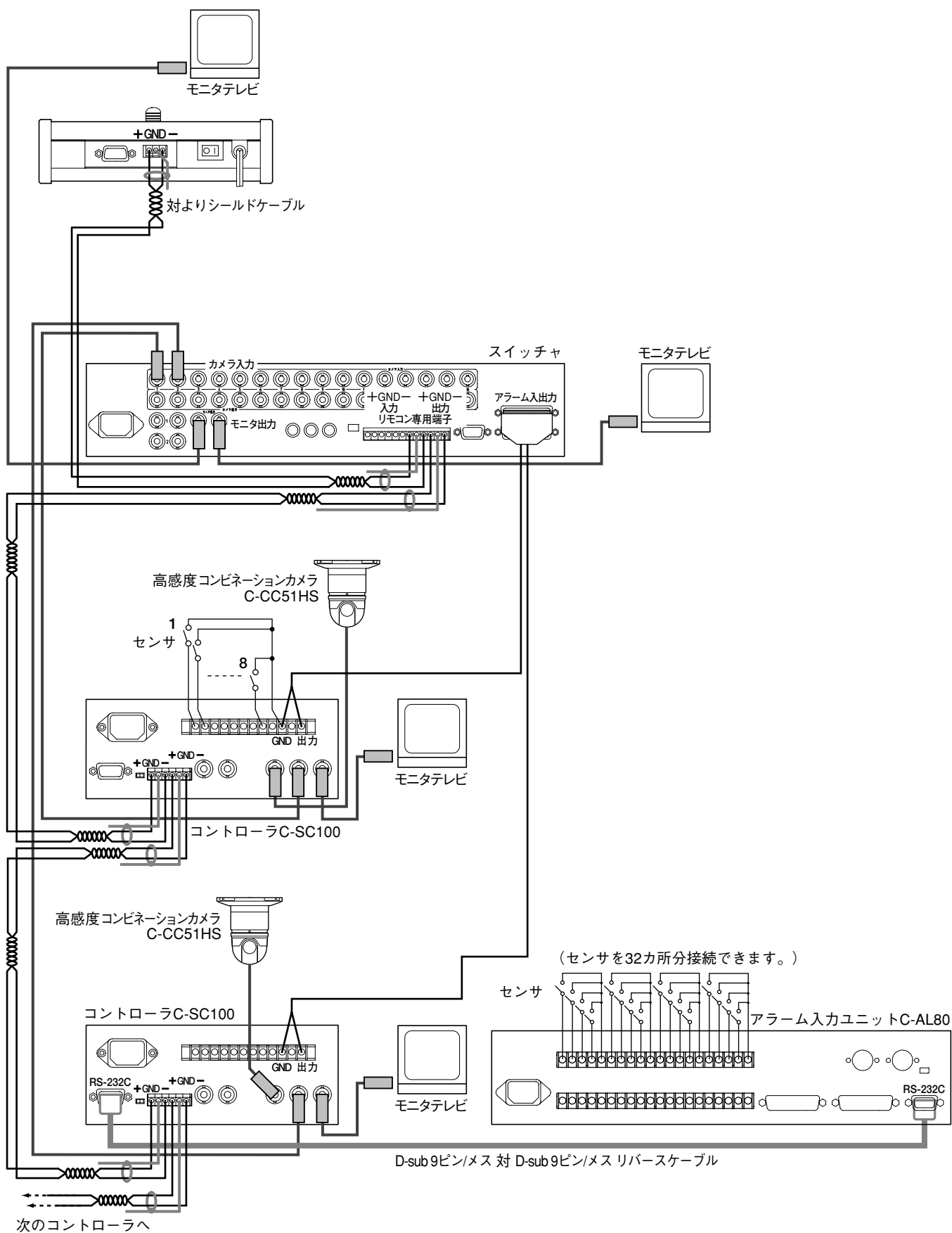


- アラーム入力ユニット C-AL80 を本機に接続すると、システム全体で 32 カ所にセンサを設置することができます。また、C-AL80 を増設すると接続するセンサの数を増やすことができます。



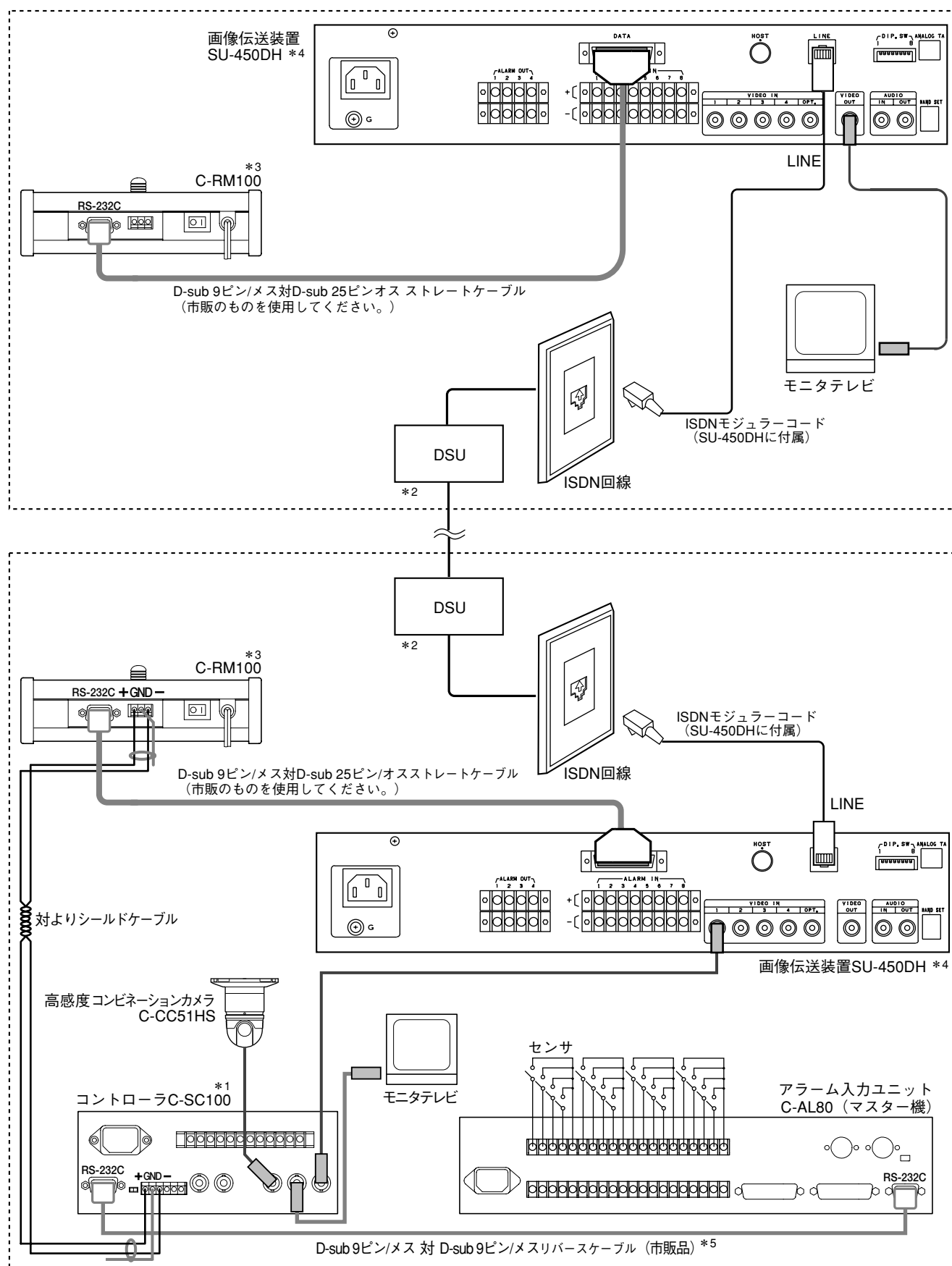
※ この図の例のように接続すると「タンシュクバンゴウ」の設定が必要です。
C-AL80 の各アラーム入力端子が、何番のカメラのどのポジションに対応するのかを設定します。

■ スイッチャの接続



■ 画像伝送装置（コーデック）との接続1

C-SC100 に C-AL80 からアラーム信号を入力して、コーデックを使用して遠隔操作をするときの接続例です。
この場合、C-RM100 が 2 台必要です。



● 接続時の注意点

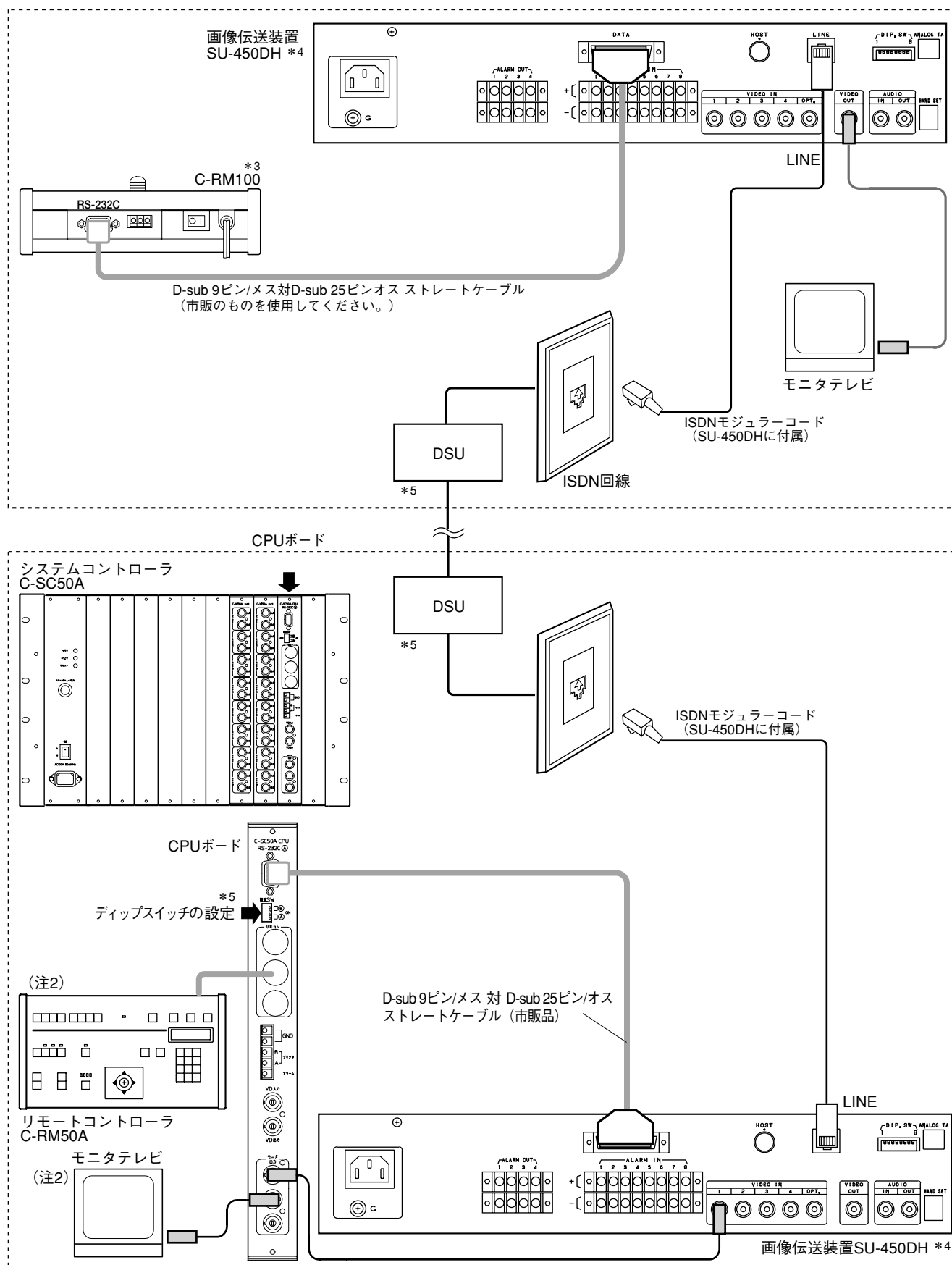
- *1 C-SC100の「メニュー」画面で、設定を変更してください。
「ホンタイ」の「RS-232C」を「38400 bps」に設定します。
- *2 このシステムを構築するためには、C-RM100側、およびC-SC100側のそれぞれにINS ネット64回線が設置されていることが条件です。また双方にDSUも必要です。
- *3 本機、C-RM100のRS-232C設定で、「9600 bps」に設定します。
- *4 SU-450DHの「メニュー」画面で、データ通信設定をしてください。
データ通信速度を次のように設定します。

データ自動オープン	: ON
データ速度	: 9600 bps
キャラクタ長	: 8 bit
パリティ	: 偶数
ストップビット	: 1 bit

詳細はSU-450DHに付属の取扱説明書をお読みください。
- *5 アラーム入力ユニットC-AL80（マスター機）のRS-232C端子とC-SC100のRS-232C端子間を接続するケーブルは、C-AL80に付属のRS-232Cケーブル（2 m）を使用してください。2 m以上の距離があるときは、市販品のD-sub9ピンメス対D-sub9ピンメスのリバースケーブルを使用してください。

■ 画像伝送装置（コーデック）との接続2

本機からコーデックを使用してシステムコントローラ C-SC50A を遠隔制御することができます。ただし、使用できない機能があります。（注1）



● 接続時の注意点

(注1) 以下の機能が使用できません。

ダイレクトセレクト機能
4、9、10、16 分割の各画面表示
4 分割シーケンス画面表示
静止画像の表示
アラーム保留機能
コントロールキー
システムコントローラの設定

(注2) C-RM100 からシステムコントローラ C-SC50A を画像伝送装置（コーデック）を経由して、遠隔操作する場合、C-SC50A での設定が必要です。このため、C-SC50A 側にメニュー設定用のリモートコントローラ C-RM50A とモニターテレビが必要です。

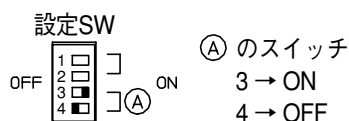
*3 本機、C-RM100 の RS-232C 設定で、「9600 bps」に設定します。

*4 SU-450DH の「メニュー」画面で、データ通信設定をしてください。
データ通信速度を次のように設定します。

データ自動オープン：ON
データ速度：9600 bps
キャラクタ長：8 bit
パリティ：偶数
ストップビット：1 bit

詳細は SU-450DH に付属の取扱説明書をお読みください。

*5 C-SC50A の CPU ボードにあるディップスイッチを、次のように設定します。



アフターサービスについて

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お求めの販売店にお問い合わせください。

● 保証書

保証書は販売店からお渡ししますから、必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。保証期間は、お求めの日から1年間です。

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お求めの販売店にご連絡ください。お客様が修理することはできません。

もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象から外れますのでご注意ください。

● 保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。

● 連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

仕 様

電	源	AC100 V 50/60 Hz
消 費 電 力		4 W
外 部 制 御 端 子		リモコン専用端子：1系統 スクリューレスコネクタ（3P） RS-232C ：1系統 D-sub コネクタ（9P）オス
表 示		コントロール状態、アラーム状態、アラーム保留状態、静止画状態、 デフロスタ、予備、オートパン、レンズスピードの各LED表示 キー入力確認用LCD表示
警 報 音		アラーム動作時：連続警報音（ON/OFF 可能） 誤操作時：短音警報音
リモコン専用端子間最大延長距離		1.2 km *
使 用 温 度 範 囲		0℃～＋50℃
仕 上 げ		パネル：表面処理鋼板、サンドグレー（マンセル7.2Y7.2/0.5 近似色）塗装 側面部：ゴム
寸 法		326 (W) × 57.9 (H) × 181 (D) mm
質 量		1.9 kg
別 売 品		ラックマウント金具：P-MBCRM50

* ただし、本機と C-SC100 がそれぞれ 1 対 1 のシステムの場合であり、1 つのシステムに複数台の C-SC100 や本機がある場合は、システムのリモコン専用端子間の距離の合計が 1.2 km 以下であること。

※ CPEV-S φ 0.65 以上相当のケーブルを使用してください。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



TOA インフォメーションセンター

商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く)

フリーダイヤル (無料電話)

TEL. 0120 - 108 -117

〒665-0043 宝塚市高松町2番1号

TEL (0797) 72-7567

FAX (0797) 72-1090

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

札幌営業所 TEL (011) 780-1001 代
青森営業所 TEL (0177) 23-3751 代
秋田営業所 TEL (018) 824-7231 代
盛岡営業所 TEL (019) 654-5211 代
仙台営業所 TEL (022) 256-8100 代
郡山営業所 TEL (024) 923-7744 代
水戸営業所 TEL (029) 231-9811 代
宇都宮営業所 TEL (028) 633-9661 代
高崎営業所 TEL (027) 326-3955 代
多摩営業所 TEL (042) 584-1711 代
長野営業所 TEL (026) 234-2231 代
新潟営業所 TEL (025) 246-2316 代
千葉営業所 TEL (043) 234-6511 代
大宮営業所 TEL (048) 685-5131 代
横浜営業所 TEL (045) 682-4848 代
東京営業所 TEL (03) 3814-6211 代

静岡営業所 TEL (054) 237-8850 代
金沢営業所 TEL (076) 233-1951 代
岐阜営業所 TEL (058) 276-1401 代
名古屋営業所 TEL (052) 971-8211 代
津営業所 TEL (059) 224-6645 代
大阪営業所 TEL (06) 6358-1141 代
京都営業所 TEL (075) 801-7328 代
神戸営業所 TEL (078) 577-4326 代
岡山営業所 TEL (086) 241-8029 代
広島営業所 TEL (082) 291-3988 代
高松営業所 TEL (0878) 66-5995 代
松山営業所 TEL (089) 931-1586 代
北九州営業所 TEL (093) 581-4722 代
福岡営業所 TEL (092) 431-0061 代
熊本営業所 TEL (096) 384-1612 代
鹿児島営業所 TEL (099) 256-5245 代

那覇営業所 TEL (098) 866-5598 代
開発営業部 TEL (03) 3814-8011 代
法人営業
推進部 TEL (03) 3818-4721 代
／大阪 TEL (06) 6353-4430 代
サウンドエンジ
ニアリング TEL (03) 3815-8731 代
サウンドポケット TEL (03) 3818-1651 代
DMS 営業 TEL (03) 3815-8731 代